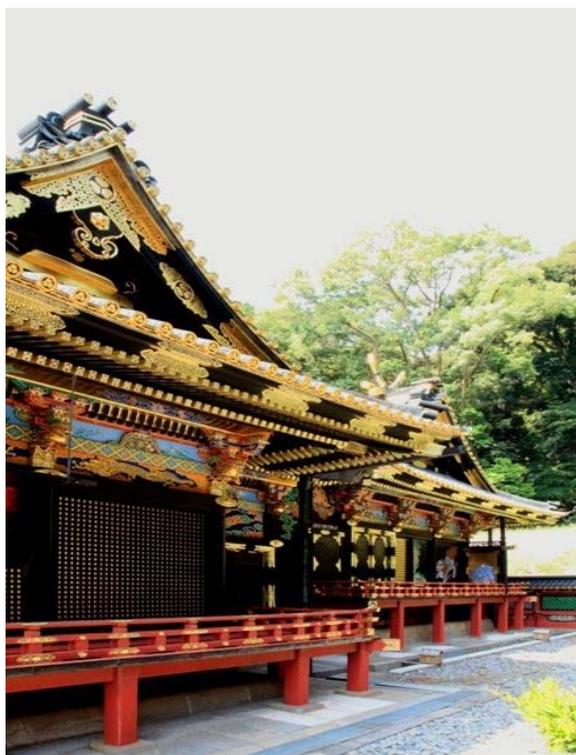


平成23年度 主要施策のポイント



国宝・久能山東照宮

平成23年2月17日



静岡市

平成23年度主要施策のポイント

目 次

1 平成23年度の重要政策	1
魅力あふれる交流・創造都市への転換	
快適で高品質な都市基盤の確立	
安全・安心な生活環境の整備	
持続可能な環境共生都市の実現	
2 予算の特徴	
(1) 子育て、教育環境の充実	2
(2) 地域資源を活かした交流の拡大	2
(3) 地域経済の活性化、雇用の創出	3
(4) 賑わいの創出と快適な都市づくり	3
(5) 地域材の活用	3
3 重要政策に即した主な施策(一覧)	
魅力あふれる交流・創造都市への転換	4
歴史・文化・自然・産業等を活かした交流・創造都市への転換	
快適で高品質な都市基盤の確立	5
都心、副都心、地域拠点、生活拠点の整備	
交通・情報体系の整備	
安全・安心な生活環境の整備	6
自然災害への対応	
福祉・健康・医療への対応	
子育て・教育への対応	
雇用・生活対策への対応	
持続可能な環境共生都市の実現	8
低炭素社会の実現、自然環境との共生	
地域材の活用促進	
重要政策に即した主な施策(個票)	
魅力あふれる交流・創造都市への転換	9
快適で高品質な都市基盤の確立	41
安全・安心な生活環境の整備	55
持続可能な環境共生都市の実現	97

1 平成23年度の重要政策

魅力あふれる交流・創造都市への転換

本市は、南アルプスに代表される傑出した自然、日本平・三保の松原等からの富士山の眺望、徳川家康公にゆかりの歴史と文化、木工家具などの伝統産業等の豊富な潜在資源を有している。

特に、国宝に指定された久能山東照宮は、その歴史遺産としての価値が再認識され、市民の大きな誇りとなったところである。

大交流時代を迎え、世界規模での都市間競争が激化する中、「模型の世界首都」を目指したホビーフェアの成功例などを積み重ね、一層の交流の拡大や新たな価値の創造につなげ、本市の都市発展を目指していくことが重要となっている。

そこで、本市の魅力あふれる自然、歴史・文化、産業等を活かし、交流・創造都市への転換を図っていくための施策を推進する。

快適で高品質な都市基盤の確立

100万人を超える静岡都市圏の活発な都市活動を支え、国内外の交流人口の拡大を目指していくためには、快適で高品質な都市基盤の整備は必要不可欠の課題である。

静岡都心、清水都心、東静岡副都心においては、それぞれの特色に応じた整備の積極的な推進と連携の強化により、賑わいの創出を図る。

また、市内に配置していく地域拠点や生活拠点についても、民間事業者等との連携・協働により整備を進めていくため、様々な施策を推進する。

特に、移住・定住の促進は、各地区の活力を維持し、持続的な発展を目指していくうえでも重要な課題となることから、積極的な検討を進めていく。

安全・安心な生活環境の整備

異常気象によるゲリラ豪雨や地震といった自然災害はもとより、貧困・格差の拡大、雇用不安、医療・介護・年金、消費者被害、防犯、子育て・教育等、多くの問題や課題が発生し、市民の日常生活を取り巻く環境は、厳しさを増し不安定な状況となっている。

これらの問題・課題に的確に対処し、市民の誰もが安全・安心に生活できるよう、セーフティネットを構築していくなど、生活環境の更なる向上を図っていくための施策を推進する。

特に、安全・安心社会の実現に向けて、子どもや高齢者、障害のある人等に対するきめ細かな施策の推進に努めていく。

持続可能な環境共生都市の実現

地球規模で環境・エネルギー・食料の厳しい資源制約等の問題が顕在化している現在、環境との共生は人類共通の喫緊の課題となっている。

豊かで恵まれた自然環境を有する本市としては、長い日照時間や豊富な森林資源などを活かした環境と共生していくための施策の推進が求められる。

林業は、低炭素社会の実現に向けた新たな役割が期待されており、市内に都市部と広大な森林地帯を合わせ持つ本市としては、国土縮図型・政令指定都市としての特色を活かし、公共施設の木造化・木質化による木材利用の拡大の促進をはじめとした施策を積極的に推進する。

特に、中山間地域は、国土保全や水源涵養等の多面的な公益機能を有していることから、都市部に居住する市民の理解も得ながら、活性化に向けた施策を総合的かつ機動的に推進していく。

2 予算の特徴

(1) 子育て、教育環境の充実

未来を築く子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するとともに、安心して子育てができる環境を整えるための施策を実施する。

子どもを産み育てるための支援事業の拡充等

国の制度に合わせ子ども手当の支給を拡充するとともに、子どもの入院、通院に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、引き続き子ども医療費助成を実施する。

また、妊婦健診事業に新たに歯科健診を加えるとともに、不妊治療費助成制度を拡充し不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図る。

さらに、適切な養育を支援するため保健師や助産師等の専門的資格を持つ訪問員による養育支援訪問事業を開始する。

保育環境の充実

待機児童縮減のため平成22年度に開設した待機児童園の着実な運営を推進するとともに、市立保育所職員を増員するほか、私立保育所への運営費助成を増額し、保育内容の充実を図る。

また、保育環境を充実させるため、市立保育所の3歳児以上の保育室に順次空調設備を整備するとともに、私立保育所の園庭芝生化の取り組みに対し助成する。

教育支援体制の充実

特別な支援を必要とする幼児や児童・生徒を支援し、学習上の困難を改善するため、支援員等を増員する。また、いじめや不登校等の児童・生徒の心の問題や家庭環境等の問題に対応するため、スクールカウンセラーの配置時間や、スクールソーシャルワーカーの派遣人数を拡大する。

さらに、学校図書館の充実を図るため、学校司書の配置を12学級以上の学校から10学級以上の学校に拡大する。

(2) 地域資源を活かした交流の拡大

国内のみならず世界に誇れる地域資源を活かし、官民の協働によりその魅力を情報発信し、交流の拡大と新たな価値の創造につなげる施策を実施する。

国宝・久能山東照宮の魅力を発信

国宝指定された久能山東照宮の文化財としての魅力を発信するため、シンポジウムの開催やメディア関係者の招聘事業等を実施するとともに、歴史資料や美術工芸品等を含めた学術的な総合調査を実施する。

「ホビーのまち静岡」の推進

140万人を超える来場者が訪れ、ホビーや本市の魅力をアピールした「静岡ホビーフェア」を引き継ぐ事業として、民間が開設する「(仮称)静岡ホビーミュージアム」に助成を行うなど、「ホビーのまち静岡」を推進する。

シティプロモーションの推進

集客交流都市を目指して、「静岡市はいいねえ。」キャンペーン事業を引き続き実施するとともに、魅力ある地域資源の情報発信、経済交流促進のため、23年度はソウル市における情報提供コーナーの設置や旅行商品のテレビショッピングの実施等の海外プロモーション活動を行う。

(3) 地域経済の活性化、雇用の創出

世界経済は景気は緩やかに回復しているものの、我が国の景気は足踏み状態にあり、引き続き厳しい地域経済や雇用情勢を踏まえ、地域経済の活性化と市民の新たな雇用確保を図るための施策を実施する。

企業支援等の実施、中小企業融資制度の拡充

新商品開発、企業立地などに対し引き続き助成を行うとともに、リーマンショック等により減少した清水港コンテナ貨物量の増加のため、コンテナ貨物誘致に対する助成枠を増額する。

また、中小企業への融資制度のうち、創業者支援制度を拡充するとともに、新たに小規模事業者の経営改善に係る資金への利子補給を行う。

緊急雇用創出事業の実施

雇用、就業機会を創出・提供し、生活の安定を図るため、ふるさと雇用再生特別対策事業、緊急雇用創出事業を実施する。45事業 雇用創出効果212人

(4) 賑わいの創出と快適な都市づくり

賑わいと交流を創出する静岡、清水、東静岡の拠点整備に加え、都市機能を補完する地域拠点、地域の個性を発揮する生活拠点の整備を推進するとともに、道路ネットワークの構築を推進し、快適で質の高いまちづくりを実現する。

市街地再開発、駅周辺整備、土地区画整理事業の推進

呉服町地区、鷹匠地区、清水駅西地区の再開発事業を促進するほか、新たに南町地区、草薙地区の再開発事業に助成する。

また、交通環境の改善や交通結節点機能を向上させるため安倍川駅、草薙駅周辺の整備を実施する。

さらに、整備の完了を目前にしている東静岡、大谷、清水駅西の各区画整理事業を引き続き推進し、魅力ある都市拠点や良好な住環境を創出する。

② 道路ネットワークの整備

多彩な交流と活発な都市活動を支えるため、日の出町押切線等の街路事業や国道362号等の道路事業を推進し、交通アクセスの改善、向上を図る。

(5) 地域材の活用

林業の振興、森林が持つ環境に対する公益的機能の維持、さらに木材の本来あるべき循環型資源としての利用促進を図るための施策を実施する。

地域材活用助成の拡充

市産材を活用する住宅建築に対する助成制度を引き続き実施するとともに、中山間地域への移住者に対しては助成の拡充を新たに実施する。

また、21年度に創設した民間幼稚園等の公益的施設に対して引き続き助成を行い、市産材の活用を促進する。

公共施設への地域材の活用

昨年10月に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、足久保小学校特別教室棟、清水船越老人福祉センターを市産材を活用した木造構造で建設するほか、仮称安倍消防出張所庁舎などの内装材にも市産材を活用していく。

3 重要政策に即した主な施策(一覧)

魅力あふれる交流・創造都市への転換

欄外 は「2 予算の特徴」に掲げた事業

区分の は新規事業、 は拡充事業、 は臨時的事業

【歴史・文化・自然・産業等を活かした交流・創造都市への転換】

6,760,386 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
1	国宝・久能山東照宮関連事業(シンポジウム開催、観光PRほか)	☆	8,573	生活文化局	10
			10,000	経済局	11
2	公園整備事業(日本平公園整備、駿府公園再整備)		388,900	都市局	12
3	自然環境保全事業(南アルプス世界自然遺産登録推進事業ほか)		27,961	環境局	13
4	清流の都創造事業		14,300	環境局	14
5	日本平動物園再整備事業	☆	1,377,386	生活文化局	15
6	登呂博物館開館1周年記念事業等		62,349	教育委員会	16
7	企業支援、創業支援事業 (企業立地促進助成、創業支援資金等利子補給、新商品等開発助成ほか)	○ ☆	478,800	経済局	17
8	仮称こどもクリエイティブタウン整備事業	☆	330,085	経済局	18
9	清水港振興事業(マグロまつり、コンテナ航路誘致、普及促進事業)		72,430	経済局	20
10	シティプロモーション推進事業(海外プロモーション、ブランド認証ほか)		76,165	経済局	22
11	イベント開催助成事業 (大道芸、静岡まつり、みなと祭り、安倍川花火、グルメ王国ほか)	○ ☆	257,615	経済局	24
12	「お茶のまち静岡」推進事業(茶園改植助成、茶文化振興ほか)		34,337	経済局	27
13	「ホビーのまち静岡」推進事業 (ホビーミュージアム助成、ホビーウィーク助成ほか)	☆	107,760	経済局	29
14	農業振興事業(都市農家支援、県果樹研究センター誘致ほか)	☆ ◎	708,391	経済局	30
15	農業集落排水事業	☆	432,300	経済局	31
16	林業振興事業(林道整備、地域材活用促進ほか)	○ ☆	730,939	経済局	32
17	由比漁港整備事業		1,036,469	経済局	35
18	用宗漁港、用宗海岸整備事業		435,388	経済局	36
19	中山間地域振興事業 (移住促進、おらんとこのこれ一番、木質バイオマスボイラー設置ほか)	○ ☆	166,648	経済局	37
20	姉妹都市・友好都市交流事業(カンヌ市、フエ市交流)		3,590	生活文化局	39

※当初予算額の()書きは一部再掲した額。それぞれの項目ごとの合計にはその数値を含む。

快適で高品質な都市基盤の確立

欄外 は「2 予算の特徴」に掲げた事業

区分の は新規事業、 は拡充事業、 は臨時的事業

【都心、副都心、地域拠点、生活拠点の整備】

9,913,806 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
21	市街地再開発事業（呉服町、南町、清水駅西、草薙駅南口） （優良建築物等整備事業 鷹匠、清水駅西）		1,739,640	都市局	42
22	地域総合整備資金貸付事業	☆	2,318,000	経営管理局	44
23	土地区画整理事業（東静岡、清水駅西、大谷、三保羽衣）		4,968,226	都市局	45
24	駅周辺整備事業（紺屋町地下道整備、安倍川駅・草薙駅周辺整備）		787,940	都市局	47
25	大谷・小鹿地区まちづくり計画事業		100,000	都市局	49

【交通・情報体系の整備】

15,732,102 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
26	街路整備事業		4,321,397	都市局	50
27	道路新設改良事業		10,749,785	建設局	51
28	新東名スマートIC設置促進事業		245,330	建設局	52
29	自転車道ネットワーク整備事業		246,000	建設局	53
30	道路情報等提供システム構築事業		169,590	建設局	54

※当初予算額の()書きは一部再掲した額。それぞれの項目ごとの合計にはその数値を含む。

安全・安心な生活環境の整備

欄外 は「2 予算の特徴」に掲げた事業

区分の は新規事業、 は拡充事業、 は臨時的事業

【自然災害への対応】

2,437,885 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
31	浸水対策推進プラン事業（河川）		451,000	建設局	56
32	下水道施設整備事業（雨水）		1,229,621	上下水道局	57
(37の 一部)	市民福祉を推進する事業（災害時要援護者避難支援推進事業）【再掲】	◎	(17,661)	保健福祉 子ども局	63
33	消防施設整備事業 （消防本部・石田消防署、仮称安倍消防出張所、消防団庁舎）	☆	500,940	消防局	58
34	消防救急広域化推進事業	☆	13,967	消防局	60
35	水防活動事業（洪水ハザードマップほか）	☆	58,396	経営管理局	61
36	建築物耐震対策事業（木造住宅耐震補強事業費助成ほか）		166,300	都市局	62

【福祉・健康・医療への対応】

27,179,801 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
37	市民福祉を推進する事業 （日常生活自立支援、生活保護扶助事業ほか）		12,936,992	保健福祉 子ども局	63
38	障害のある人の生活を支える事業 （精神障害者地域生活移行支援、民間障害者福祉施設整備費助成ほか）	○ ☆	8,884,508	保健福祉 子ども局	65
39	人間関係豊かな長寿のまちを確立する事業 （24時間対応定期巡回・随時対応サービス、民間特別養護老人ホーム等 建設費助成、清水船越老人福祉センター改築ほか）	○ ☆	1,854,589	保健福祉 子ども局	69
40	健康づくりの推進事業（がん対策、各種予防接種、医師等確保対策、 自殺対策、急病センター・こころの健康センター建設）	○ ☆	3,015,109	保健福祉 子ども局	72
(41の 一部)	子どもを産み育てるための支援事業（妊婦健康診査）【再掲】	○	(488,603)	保健福祉 子ども局	78

※当初予算額の（ ）書きは一部再掲した額。それぞれの項目ごとの合計にはその数値を含む。

【子育て・教育への対応】

26,990,868 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
41	子どもを産み育てるための支援事業 (子ども手当、子ども医療費助成、不妊治療助成、養育支援訪問事業ほか)	◎ ○ ☆	16,746,691	保健福祉 子ども局	77
42	保育環境を充実させる事業 (市立保育所空調設備整備、私立保育所園庭グリーン化助成、私立保育所等助成ほか)	◎ ○	8,457,937	保健福祉 子ども局	81
43	特別支援教育の推進(特別支援教育推進、特別支援教育センター運営ほか)	○	141,455	教育委員会	83
44	教育相談体制の充実 (スクールカウンセリング、スクールソーシャルワーカー活用)	○	83,835	教育委員会	84
45	学校図書館教育の推進	○	56,786	教育委員会	85
46	高等学校の整備 (仮称清庵地区新構想高等学校建設、市立高等学校科学探究科運営)	◎ ☆	1,499,639	教育委員会	86
47	子育て世帯住宅取得支援事業		4,525	都市局	87

【雇用・生活対策への対応】

14,954,053 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
48	雇用促進対策事業(緊急雇用事業)	☆	455,646	経済局	88
49	地域コミュニティ活性化事業(自治会・町内会関係助成)		556,698	生活文化局	89
50	生涯学習施設建設事業	☆	711,962	生活文化局	90
51	水道施設整備事業(水相互運用、鎌田配水場、由比浄水場)	☆	2,916,300	上下水道局	91
52	生活交通対策事業(バス路線維持対策、バス路線維持費助成)		342,251	都市局	93
53	情報化推進事業(自主共聴施設デジタル化、衛星ブロードバンド整備助成)		25,500	経営管理局	94
54	公営住宅整備事業(富士見団地)		1,160,000	都市局	95
55	下水道施設整備事業(汚水)		8,785,696	上下水道局	96

※当初予算額の()書きは一部再掲した額。それぞれの項目ごとの合計にはその数値を含む。

持続可能な環境共生都市の実現

欄外 は「2 予算の特徴」に掲げた事業

区分の は新規事業、 は拡充事業、 は臨時的事業

【低炭素社会の実現、自然環境との共生】

2,069,880 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
56	地球温暖化対策推進事業 (次世代自動車普及促進、見える化、太陽光発電施設助成ほか)	◎ ☆	112,074	環境局	98
(19の 一部)	中山間地域振興事業(木質バイオマスボイラー設置)【再掲】	☆	(84,000)	経済局	38
(3の 一部)	自然環境保全事業(生物多様性地域戦略策定)【再掲】	☆	(1,788)	環境局	13
57	環境低負荷型都市建設事業 (資源循環センター啓発施設運営、ごみ等収集ほか)	◎ ☆	1,836,018	環境局	102
(55の 一部)	下水道施設整備事業(中島浄化センター汚泥燃料化)【再掲】		(36,000)	上下水道局	96

【地域材の活用促進】

418,767 千円

No	主な施策・事業	区分	当初予算額 (千円)	局名	頁
(16の 一部)	林業振興事業(地域材活用促進事業)【再掲】	○ ☆	(91,200)	経済局	34
58	公共施設への地域材の活用 ・足久保小学校特別教室棟建設事業(木造2階建)	☆	69,757	教育委員会 保健福祉 子ども局	105
	・清水船越老人福祉センター改築事業(木造平屋建)(39の一部)【再掲】	☆	(257,810)	保健福祉 子ども局	

※当初予算額の()書きは一部再掲した額。それぞれの項目ごとの合計にはその数値を含む。

I 魅力あふれる

交流・創造都市への転換

(1) 国宝・久能山東照宮関連事業について(生活文化局)

臨時 ① 久能山東照宮総合調査事業

1,600 千円

○目的 久能山東照宮には、国宝に指定された建造物のほか歴史資料、美術工芸品等多様な文化財が多数保存されているが、静岡市として、それらを総合的に調査研究するなどの学術的な取り組みは、今までなされてこなかった。家康没後400年に向けて総合調査を実施することにより、久能山の価値を全国に正しくアピールするための基盤作りを行う。

○事業概要 建築、美術工芸、文献史学等各分野の専門家からなる調査委員会を結成し、調査報告書「久能山史」と、史跡「久能山」保存管理計画の作成に向けての基礎調査を実施する。

臨時 ② 歴史シンポジウム事業

700 千円

○目的 国宝に指定された久能山東照宮 本殿・石の間・拝殿を中心に、東照宮建築の歴史的な意義と文化財としての魅力について、理解を深め、その情報を内外に発信する。

○事業概要 東照宮建築の調査研究をすすめている大学教授などを講師に招き、シンポジウムを開催する(6月上旬を予定)。

臨時 ③ 防災施設改修事業助成

6,273 千円

○目的 文化財の保護のため、経年劣化が進んでいる防災施設改修事業への助成を行う。

○事業概要 久能山東照宮本殿・石の間・拝殿ほか12棟の建造物の防災施設改修を行う久能山東照宮へ助成する。



久能山東照宮



(1)国宝・久能山東照宮関連事業について(経済局)

臨時 ① 観光戦略アクションプログラム推進事業

10,000 千円

○目的 都市イメージの向上、国内外からの入込客増による地域経済の活性化を図る。

○事業概要 1 国宝・久能山東照宮の全国アピール事業

首都圏及び空港就航都市からメディア関係者を招聘し、市内を周遊してもらうことで国宝指定された久能山東照宮をはじめ、本市の地域情報をテレビ番組放映や誌面掲載により発信する。

2 観光商品造成モニターツアーの開催

旅行者のニーズを活かした本市ならではの観光モデルコースを造成するため、首都圏、空港就航都市の方を対象にモニターツアーを実施する。

3 「仮称こども旅先案内人」育成事業

静岡市の観光についての子どもたちへのアンケートの実施や、子どもたちによる修学旅行生への観光案内を実施し、観光資源に対する造詣と、地域への誇りの醸成を図る。



久能山東照宮



日本平山頂からの富士山

(2) 公園整備事業について(都市局)

① 日本平公園整備事業

354,000 千円

(財源:国補助金146,150千円
市債 183,400千円)

○目的 快適で個性ある魅力的な都市空間の創出の実現に向け、都市公園の充実を図るため、日本平山頂整備を実施する。

○事業概要 用地取得、アクセス道路外築造工事及び調整池築造工事を実施する。
全体面積:33ha、第1期事業費:約21億円

② 駿府公園再整備事業

34,900 千円

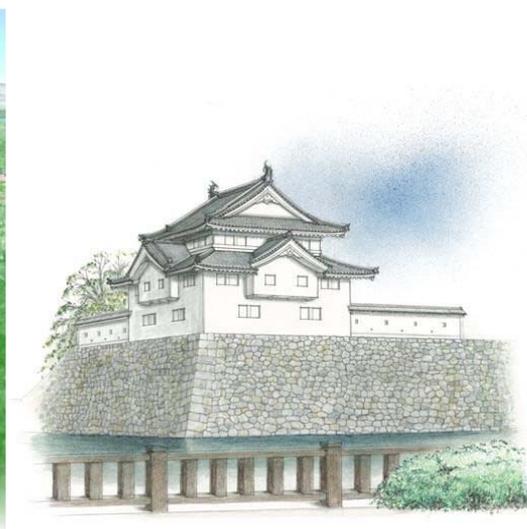
(財源:国補助金13,500千円
市債 14,800千円)

○目的 歴史を感じる公園として、市民がより親しむことができ、全国に誇れる公園を目指し、駿府公園の再整備を実施する。

○事業概要 坤(ひつじさる)櫓建設工事(平成23~25年度継続工事)等を実施する。
構造:木造3層、建築面積:277㎡、工事費:5.4億円



日本平公園整備イメージ



坤櫓完成予想図

(3) 自然環境保全事業について(環境局)

① 南アルプス世界自然遺産登録推進事業

26,173 千円 (財源: 県補助金20,000千円)

○目的 南アルプスの世界自然遺産登録活動を推進する。

○事業概要 南アルプスの学術的知見を集積するとともに、その豊かな自然環境、エコツーリズム等を紹介するホームページを作成し、国内外に情報を発信する。



間ノ岳



ライチョウ

臨時 ② 生物多様性地域戦略策定事業

1,788 千円

○目的 本市における生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する地域戦略を定めることにより、豊かな自然の恵みの享受と継承を目指す。

○事業概要 平成22年度に実施した基礎調査等をもとに生物多様性地域戦略を策定し、冊子の作成、ホームページの活用、シンポジウムの開催などにより市民への周知を図る。



南アルプスのお花畑



ミヤマシジミ

(4) 清流の都創造事業について(環境局)

① 「清流の都」創造プロジェクト事業 5,300 千円 (財源: 財産収入535千円 諸収入1千円)

○目的 安倍川、藁科川、興津川などの清流に象徴される本市の豊かな自然環境を市民、事業者、行政の協働により保全し「清流の都・静岡」を創造する。

○事業概要 市街地における「やすらぎと清流」をイメージさせる事業として、駿府公園の紅葉山庭園で「家康公ほたるの集い」を開催するほか、清流監視員による河川のレジャー客へのマナー指導などの実施により、河川環境の保全及び意識啓発を図る。



清流監視員によるマナー指導



清流連携交流事業(パネルディスカッション)

② 緑化奨励助成 9,000 千円

○目的 住宅や事業所の緑化により、緑あふれる環境の創出、快適な生活環境の創造並びに都市緑化の促進を図る。

○事業概要 住宅や事業所の屋上、壁面、まちかど(庭や駐車場等)の緑化及び生垣設置に対し、助成を行う。



生垣施工例



屋上緑化施工例

(5) 日本平動物園再整備事業について(生活文化局)

臨時 ① 日本平動物園再整備事業

1,377,386 千円

(財源: 国補助金 123,250千円
市債 1,124,700千円)

○目的 開園から41年を経過し、動物園に求められる社会的役割が変化していることに対応するため、リニューアルを行う。動物を間近で観察できるような展示を取り入れ、動物の生態を始め、野生動物の保護あるいは環境問題等についても、楽しみながら学ぶことのできる施設として整備する。また、小動物とのふれあい施設を拡張整備し、動物愛護など情操教育の場としての機能も、更なる充実を図る。

○事業概要 総事業費 約6,900,000千円

事業期間 平成19～24年度

(平成23年度事業)

- ・ペンギン館、レッサーパンダ館、ビジターセンター建設工事
- ・ふれあい動物園第二期工事
- ・入園ゲート建設工事
- ・進入路整備工事
- ・類人猿舎外建設工事実施設計

ふれあい動物園イメージ図



(6) 登呂博物館開館1周年記念事業等について(教育委員会)

① 登呂博物館管理運営事業

62,349 千円

(財源: 使用料 16,540千円
財産売払収入 2,613千円
諸収入 131千円)

○目的 登呂遺跡の価値を全国に発信するため、リニューアルした登呂博物館の管理運営、展示、教育普及活動、調査研究活動等を行う。

○事業概要 登呂博物館開館1周年記念事業として、「発掘された日本列島2011」を開催する。

この事業は、文化庁が全国から5か所の博物館を選出して実施する事業であり、23年度は登呂博物館が選出された。

日本では年間9,000件を超える発掘調査が全国各地で行われており、その発掘された重要な遺跡・遺物の発掘速報展として最新の出土遺物を展示する。



登呂博物館外観



展示

(7) 企業支援、創業支援事業について(経済局)

① 企業立地促進助成

450,000 千円

○目的 市内への企業の進出・市内における企業の定着を促進し、地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図る。

○事業概要 ・工場等設置事業(補助対象:雇用・用地取得費・設備投資費)
・事務所賃借事業(補助対象:建物賃借料)
・富士山静岡空港関連産業開設事業(補助対象:建物賃借料・事務機器購入費等)

拡充 ② 創業支援資金利子補給事業

4,000 千円

○目的 新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。

○事業概要 市内に1年以上居住し、かつ、市内で創業しようとする事業者、又は創業5年未満の事業者に対し、5年間、0.97%の利子補給を実施。
(対象者、利子補給率等の見直しによる拡充)

臨時 ③ 小規模事業者経営改善資金利子補給事業

3,700 千円

○目的 小規模事業者の事業の経営改善を促進し、事業資金の融通の円滑化を図る。

○事業概要 日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善(マル経)資金を借りた市内の事業者に対し、1年間、1%の利子補給を実施。

④ SOHOしずおか運営費助成

14,500 千円

○目的 起業精神にあふれる人材の発掘や本市産業の牽引役となることが期待される起業家の育成を図る。

○事業概要 SOHO事業者や起業を志す人への支援を行う「SOHOしずおか」の運営費を助成。

⑤ 新商品等開発事業費助成

6,600 千円

○目的 新市場開拓、販路拡張等への助成により、市内製造業界の振興発展を図る。

○事業概要 中小製造業者の新商品の開発経費及び産業財産権の出願費用に対する助成。

・新商品開発事業、特許、実用新案、意匠、地域団体商標に係る出願事業

(8) 仮称こどもクリエイティブタウン整備事業について(経済局)

臨時 ① 仮称こどもクリエイティブタウン建設事業

321,948 千円

(財源: 国補助金144,000千円
市債 129,600千円)

○目的 子どもたちを対象に仕事体験、ものづくり体験等を行う場を提供し、次世代の創造人を育成することを目的とする。

○事業概要 清水駅西第一地区再開発ビル内に、仮称こどもクリエイティブタウンを建設する。

事業箇所: 清水区辻一丁目地内

JR清水駅西第一地区再開発ビル3、4階 約1,800㎡

平成24年10月開館予定

内容: 3階 こどもバザール[仕事体験]

4階 こどもファクトリー[ものづくり体験]

内装整備工事費 200,000 千円

用地取得費 121,000 千円

土地鑑定評価委託料 398 千円



こどもクリエイティブタウン 仕事体験イメージ図

臨時 ② 仮称こどもクリエイティブタウン開設準備事業

8,137 千円

(財源: 県補助金 5,961千円
ほか)

○目的 平成24年10月に開館予定の仮称こどもクリエイティブタウンの周知及び協力人材等の確保に向けてプレイベント等を実施する。

○事業概要 仮称こどもクリエイティブタウンで行うプログラムの試行と施設PRを兼ねて、プレイベント、キャラクター等公募事業及び検討委員会などを実施する。

全体企画費 562 千円

(検討委員会の開催、指定管理者選定等)

プレイベント「ミニ・しずおか」及び 7,085 千円

体験プログラム検証事業

愛称・キャラクター公募・選定事務 490 千円

(9) 清水港振興事業について(経済局)

- ① シティプロモーション推進事業 11,000 千円(財源:国補助金 7,517千円)
 (「まぐろのまち静岡」推進事業)

○目的 水揚量日本一の「マグロ」をテーマにしたイベントの実施により、
「まぐろのまち静岡」をアピールしていく。

○事業概要 清水港マグロまつり2011(第5回)

開催日 平成23年10月9日

会場 JR清水駅東口イベント広場ほか

内容 マグロ解体ショー、マイナス60度体験 ほか



会場全景(平成22年10月10日)

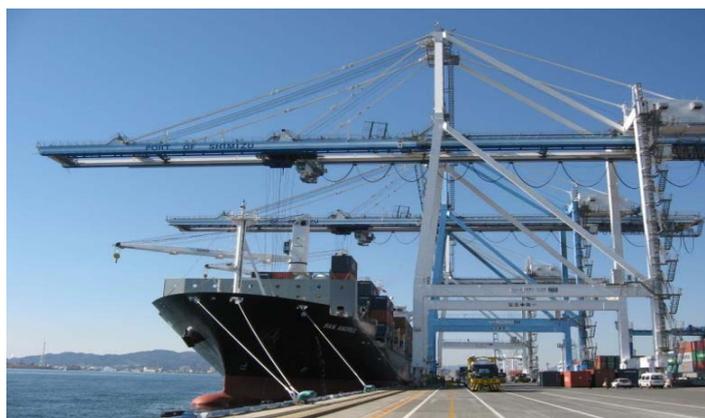


マグロの解体ショー

- ② 清水港コンテナ航路誘致事業 50,000 千円

○目的 コンテナ新規航路誘致及びコンテナ貨物誘致を実施することにより、
清水港の利用促進を図り、静岡市の経済活性化につなげていく。

○事業概要 誘致助成を実施する清水港コンテナ航路誘致委員会に対し負担金を
拠出する。



新興津埠頭
コンテナ荷役風景

③ 清水港普及促進事業

11,430 千円

○目的 市、県及び民間で組織し、客船や帆船の誘致を行っている「清水港客船誘致委員会」へ負担金を拠出すること等により、清水港に市民が憩い、賑わいを創出することを目的とする。

○事業概要 客船誘致を実施する清水港客船誘致委員会に対する負担金拠出等

- ・誘致活動の実施(国内、海外)
- ・清水港寄港歓迎事業の実施(客船、帆船)
- ・広報活動の実施(HPや業界紙へ清水港のPR) 等



帆船入港時の日の出岸壁の様子

(10) シティプロモーション推進事業について(経済局)

- ① シティプロモーション推進事業 **74,667 千円**
(国内および海外プロモーション事業等) (財源: 県補助金 46,733千円)

○目的 集客交流都市の実現に必要な、情報発信、経済交流促進事業を実施することにより、都市のイメージの浸透・知名度の向上を図る。

○事業概要 1 「静岡市はいいねえ。」キャンペーン事業 10,192千円

さくらももこ氏のイメージキャラクターを使用し、PR活動を実施

2 国内プロモーション事業 540千円

・ホームページ管理運営経費

本市シティプロモーションの総合的ポータルサイトの管理運営

3 国外プロモーション事業 11,684千円

・旅行ブログ運営事業経費

韓国向けに、インターネットを利用し「静岡市旅行」を素材とした体験記を掲載

臨時 ・プロモーションレポーター事業経費

在日外国人等による、海外プロモーションの提案及び旅行ブログへの参画

臨時 ・マッチングメディア事業経費

海外メディアに対する取材・撮影支援

臨時 ・トラベルカフェ出展事業経費

韓国ソウル市において、静岡市情報提供コーナーをカフェに出展

臨時 ・テレビショッピング事業経費

静岡市旅行をメインとした旅行商品をテレビにて販売

4 しずチカ情報ポケット等管理運営事業 51,531千円

静岡駅北口マルチビジョン保守点検・管理運営

静岡駅北口情報提供コーナー管理運営



しずチカ情報ポケット



「静岡市はいいねえ。」キャンペーン事業
(ウェルカムフラッグ)

② シティプロモーション推進事業
(静岡市ブランド認証事業)

1,498 千円

○目的 静岡市ならではの魅力ある製品又は商品を静岡市ブランドとして認証し、PRすることで、本市の認知度を高めシティプロモーションを推進する。

- 事業概要
- 1 静岡市ブランド認証専門委員会の運営
 - 2 静岡市ブランド認証の募集及び決定業務
 - 3 静岡市ブランド認証式の開催
 - 4 過年度認証品のPR



(11) イベント開催助成事業について(経済局)

○目的 イベント開催を通じ本市の魅力を情報発信し、集客の拡大と賑わいの創出を図る。

拡充 ① 大道芸ワールドカップ開催費助成 107,480 千円

○事業概要 本市を代表するイベントであり、平成23年度は、第20回目を迎え記念大会として実施する。

(開催日) 平成23年11月3日～6日

(会場) 駿府公園、静岡駅前中心市街地 ほか

(主催) 大道芸ワールドカップ実行委員会



臨時 ② 静岡グルメ王国フェスト開催費助成 5,000 千円

○事業概要 ・しずおか食サミット

(内容) 食のアイデンティティを確認するシンポジウムの開催

(開催日) 平成23年5月

・しずおかグルメ大賞コンテスト

(内容) 新たな食を開発するコンテストの開催

(開催日) 平成23年5月～8月

・静岡グルメ王国フェスト

(内容) 新たな食のマーケティングを兼ねた食のイベントの開催

(開催日) 平成23年10月

(主催) 静岡グルメ王国フェスト実行委員会

③ 静岡まつり開催費助成 57,465 千円

○事業概要 徳川家康公が諸大名を引き連れて花見をしたという故事にならった大御所花見行列などの行事を行うイベントで、平成23年度で第55回目を迎える。

(開催日) 平成23年4月1日～3日

(会場) 駿府公園ほか

(主催) 静岡まつり実行委員会



④ 安倍川花火大会開催費助成 32,500 千円

○事業概要 静岡県中部地区を代表する花火大会であり、平成23年度で、第58回目を迎え、玉数約1万5千発を打ち上げる。

(開催日) 平成23年7月30日

(会場) 安倍川河川敷

(主催) 安倍川花火大会本部



⑤ みなと祭り開催費助成 51,120 千円

○事業概要 港かっぱれ総踊りや海上花火大会など、清水区を代表する夏のイベントで、平成23年度で第64回目を迎える。

(開催日) 平成23年8月5日～7日

(会場) さつき通り、日の出埠頭ほか

(主催) 清水みなと祭り実行委員会



⑥ しぞ〜かおでんフェア開催費助成 4,050 千円

○事業概要 静岡の伝統的な食文化である「静岡おでん」により、本市をPRするためのイベントで、平成23年度で第6回目を迎える。

(開催日) 平成24年2月中旬を予定

(会場) 青葉シンボルロード、中心市街地 ほか

(主催) しぞ〜かおでんフェア実行委員会



(12)「お茶のまち静岡」推進事業について(経済局)

①「お茶のまち静岡」推進事業

3,737 千円

(財源:繰入金 3,737千円)

○目的 「静岡市のお茶」に関する様々な情報を広く発信し、「お茶のまち静岡市」のブランド化を推進

○事業概要 シティプロモーションの活動拠点の一つであるJR静岡駅に大型電照看板を設置するほか、「茶どころ日本一キャラバン隊」を組織し、企業等へ日本茶インストラクター等を派遣し、「お茶のまち静岡市」の魅力を啓発



② 茶園改植推進事業助成

13,500 千円

○目的 樹勢が衰え凍霜害を受けやすくなる高樹齢の茶樹の優良品種への改植を計画的に推進

○事業概要 茶樹を優良品種に改植する者に対し、その経費の一部を補助する。
(1アール当たり25,000円の単価に実施面積を乗じて得た額の2分の1以内の額)

③ 防霜施設整備推進事業補助金 7,200 千円

○目的 本市の農業の基幹作物である茶の凍霜害を最小限に防ぎ、良質茶の安定生産を図る。

○事業概要 茶生産者が行う防霜施設整備経費に対する助成(平成23年度まで)

- ・防霜ファン整備(整備費の1/2以内を助成)
- ・防霜用棚式被覆施設整備(資材費の1/2以内を助成)



防霜ファン



防霜用棚式被覆施設

④ 茶文化振興事業 9,900 千円

(財源:繰入金 9,900千円)

○目的 茶どころ日本一計画に位置付けた「お茶が生活の一部となり心安らぐまちづくり」を進めることを目的とする。

- 事業概要
- ・市内小学5, 6年生を対象として「お茶の美味しい入れ方教室」の開催
 - ・お茶の日記念イベントの開催ほか
(開催日) 平成23年10月(予定)
(会場) 葵スクエア



(13)「ホビーのまち静岡」推進事業について(経済局)

①「ホビーのまち静岡」推進事業 107,760 千円

○目的 地域産業の振興・活性化とホビーのまち「静岡」をPRする。

○事業概要 43,260 千円

臨時 1「仮称静岡ホビーミュージアム」設置事業

(内 容) 「静岡ホビーフェア」の後継事業として、JR静岡駅南口に民間事業により静岡ホビーミュージアムを開設する。地場産業への理解促進とホビーのまちの認知度向上を図るため、事業への支援を行う。

(場 所) 旧静岡アートギャラリー(駿河区南町・サウスポット静岡3階)

臨時 2 静岡ホビーフェア会場跡地整備ほか 14,500 千円

3 ホビーウィーク2011の開催費助成

(開催日) 平成23年5月8日～15日

(会 場) ツインメッセ静岡 ほか

(主 催) ホビーのまち静岡実行委員会

(内 容) 第50回静岡ホビーショーほか

4 クリスマスフェスタ2011の開催費助成

(開催日) 平成23年12月10日～11日

(会 場) ツインメッセ静岡

(主 催) ホビーのまち静岡実行委員会

(内 容) 模型と手作りホビーの祭典

50,000 千円



(14) 農業振興事業について(経済局)

新規 ① 都市農家支援事業費助成

40,000 千円

- 目的 市街化区域農地で営農する農家の活動を支援することによって、静岡市の農業の振興を図り、市民への農産物の供給を促進するとともに、農地を保全し良好な農業環境を形成する。
- 事業概要 市街化区域農地において営農する農業者に対し、栽培、育苗、出荷、販売及び給水施設等の設置並びに農機具及び運搬機具等の取得に対する経費の一部を助成する。

新規 ② 地域ぐるみ朝市応援事業費助成

3,000 千円

- 目的 経営規模の小さな農家も加入する朝市等地域を挙げて事業をしていく団体を育成し、これまでの、生産だけの農業から加工・販売までの6次産業化を推進していく。
- 事業概要 朝市等地域ぐるみで6次産業化事業を展開する、市街化区域農地において営農する農業者が組織する団体に対し、農産物販売小屋の設置、販売宣伝用品、イベント開催経費等に対する経費の一部を助成する。



地元農業者による軽トラ朝市

臨時 ③ 静岡県果樹研究センター誘致事業

665,391 千円

- 目的 果樹の振興及び後継者の育成等を目的とし、静岡県果樹研究センターを県営畑総「茂畑地区」の創設非農用地等に誘致する。
- 事業概要 誘致用地の取得及び造成等を行う。
用地取得、造成面積 13.5ha

(15) 農業集落排水事業について(経済局)

① 農業集落排水事業会計

432,300 千円

(財源: 県補助金 111,100千円
市債 124,800千円
使用料 37,172千円
繰入金 151,400千円
ほか)

○目的 農業用水の水質保全、農業用排水施設の機能維持又は、農村の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水汚泥を処理する施設を整備し、もって生産性の高い農業の実現と活力のある農村社会の形成に資する。

○事業概要 1 施設管理業務 93,689 千円

- ・地元管理業務
- ・浄化槽保守点検業務
- ・その他修繕業務

臨時 2 施設整備事業 244,400 千円

- ・富厚里地区農業集落排水処理施設の建設
平成27年供用開始予定
- ・平野処理施設機能強化工事

3 元利償還金

- ・公債元金 40,310 千円
- ・公債利子 48,099 千円

(16) 林業振興事業について(経済局)

① 林道整備事業

499,093 千円

(財源: 国補助金 29,000千円
 県補助金102,096千円
 繰入金 111,000千円
 市債 242,400千円
 ほか)

○目的 森林施業の効率化、地域間の交流活性化、被災時における代替路としての機能を確保するため、林道開設工事及び改良工事等を実施する。

○事業概要	1 道整備交付金事業	191,104 千円
	・林道開設工事 林道横山線 ほか	178,973 千円
	・林道改良工事 林道樫ノ木峠線	12,131 千円



林道横山線(葵区横山)



林道樫ノ木峠線(葵区内匠)

	2 市単独林道事業	307,989 千円
	・林道開設工事 林道八重枯線 ほか	45,000 千円
	・林道改良工事 林道東俣線 ほか	179,240 千円
	・林道舗装工事 林道高山線 ほか	15,000 千円
	・路網整備計画委託 ほか	68,749 千円



林道八重枯線(葵区大間)



林道東俣線(葵区田代)

② 森林整備

140,646 千円

(財源: 県補助金 27,557千円
財産収入 27,800千円
繰入金 83,000千円)

○目的 木材生産機能とともに、水源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能を高度に発揮させ、健全で活力のある森林をつくる。

- 事業概要
- 1 いきいき森林づくり推進事業 83,926 千円
市民共有の財産として森林を健全な姿で保ち、次の世代に伝えていくために創設した「静岡市森林環境基金」の運用益等を主な財源として実施
(1)間伐
(2)間伐作業道開設助成
(3)林業生産施設整備事業助成
(4)森林教室(昆虫観察、自然観察等)
(5)林業作業員災害保険加入促進事業助成
(6)新規参入者支度金助成事業助成
 - 2 民有林造成事業 22,500 千円
林業の振興及び森林の公益機能の活用等を図るための造林、下刈及び除間伐等の施業に対する支援
 - 3 森林整備地域活動支援事業 26,230 千円
集約化施業の取組に必要な森林情報の収集等の活動や間伐実施の基盤となる作業道の点検、修繕等に対する支援
 - 4 森林整備加速化・林業再生事業 7,990 千円
間伐コストの低減を図るための高性能林業機械の導入に対する支援

拡充 ③ 静岡地域材活用促進事業

91,200 千円

(財源: 県補助金 20,000千円
繰入金 71,000千円)

○目的 適正に管理された森林が持つ環境に対する公益的機能を維持するとともに、木材の本来あるべき循環型資源としての利用を促進する。

○事業概要 1 個人住宅建築主への柱・土台100本プレゼント事業

市産材を活用する新築及び増改築の建築主に対し、30万円(100本)を上限に柱・土台100本を提供する。200棟を予定。

拡充 中山間地域移住住宅の建築主に対しては、1戸あたり50万円を上限に割増助成する。

2 私立幼稚園等公益的施設建築主への建築用木材提供

市産材を活用する私立幼稚園、保育園の建築主に対し、1園当たり500万円を上限に建築用木材を提供する。



桜花幼稚園

臨時 3 市産材活用ライフスタイル情報発信基地開設

中心市街地に市産材を活かした商品、生活提案や、木材、木造住宅の性能や森林の公益的機能などの啓発などを行う情報発信基地を開設する。

場所 葵区呉服町一丁目

ミライエ呉服町2階

開設予定 平成23年6月

(17) 由比漁港整備事業について(経済局)

① 由比特定漁港整備事業

285,000 千円

(財源: 国補助金 127,500千円
市債 114,700千円
ほか)

○目的 漁港施設内が狭隘であることによる漁船の多重係留、港内の静穏度不足、水産物の円滑な流通ができないことなどの解消のため、外港整備とこれに伴う防波堤整備や道路整備などを実施し、水産振興を図る。

○事業概要 南防波堤上部工 L=150m
3・4・5・6号道路整備 ほか

② 農林漁業体験施設整備費助成

35,124 千円

(財源: 国補助金 35,124千円)

○目的 由比港漁業協同組合が建設する農山漁村活性化プロジェクト「交流体験施設」の事業費を助成し、水産物の流通消費の拡大を図る。

○事業概要 ・交流体験施設 補助対象事業費 70,249 千円
助成額 35,124 千円
平成24年供用開始予定

③ 漁業生産基盤等整備費助成

716,345 千円

(財源: 県補助金 495,830千円)

○目的 由比港漁業協同組合が建設する衛生管理型新荷捌所並びに製氷施設の事業費を助成することで、水産物の円滑な流通と漁港の衛生管理化を図り、桜えびブランドを強化する。

○事業概要 ・荷捌所 補助対象事業費 704,660 千円
助成額 501,095 千円
平成24年供用開始予定
・製氷施設 補助対象事業費 287,000 千円
助成額 215,250 千円
平成24年供用開始予定



由比漁港全景

(18) 用宗漁港、用宗海岸整備事業について(経済局)

① 用宗特定漁港整備事業

60,288 千円

(財源: 国補助金 30,000千円
市債 27,000千円)

○目的 漁港の静穏度を向上させ漁船の航行の安全性を高めるとともに、流通交通の安定化を実現させるため、沖西防波堤と漁港道路の整備を実施し、漁業の振興を図る。

○事業概要 沖西防波堤上部工嵩上工事(L=45m)、西漁港道路改良(L=180m)



沖西防波堤平成23年度施工箇所



西漁港道路平成23年度施工箇所

② 海岸保全施設整備事業

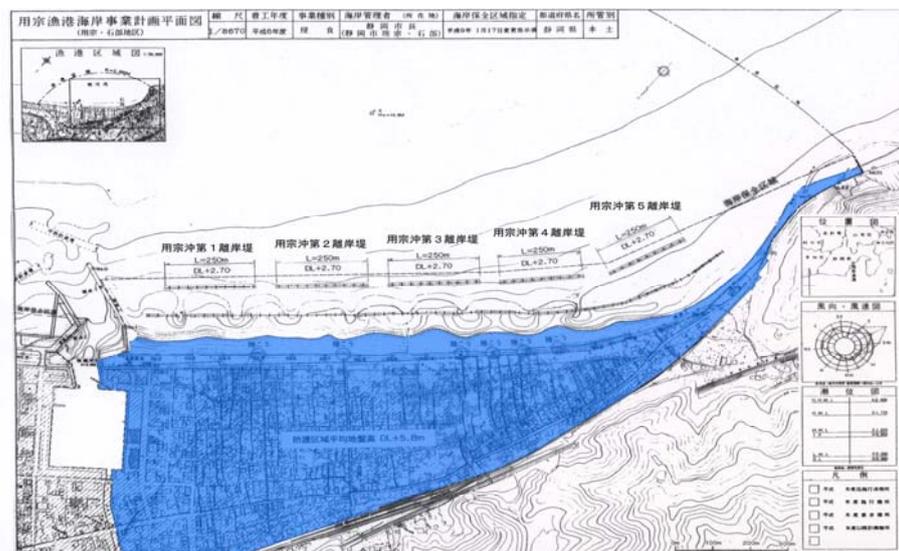
375,100 千円

(財源: 国補助金 186,800千円
市債 168,100千円

ほか)

○目的 駿河湾岸海岸保全基本計画に基づき、漁港区域内の海岸保全区域を高潮、津波等による被害から守るための整備。

○事業概要 沖第3離岸堤築造工事(L=47m)、沖第4離岸堤築造工事(L=47m)、
沖第5離岸堤 測量・設計(L=250m)



用宗沖離岸堤
整備予定図

(19) 中山間地域振興事業について(経済局)

拡充 ① 中山間地移住促進事業

8,600 千円

○目的 中山間地域の活性化と集落の維持のため都市部住民の移住を促進する。

○事業概要 移住用住宅の改修に対する助成制度の創設ほか



② おらんとこのこれ一番事業

15,360 千円

○目的 中山間地域の活性化と集落の維持を実現する。

○事業概要 地域資源を活用した活性化事業を自ら計画、実施する地域住民等により組織された団体に対し、事業計画立案への支援及び事業費への助成
葵区清沢地区ほか3地区の団体を予定。

拡充 ③ 野生鳥獣被害対策事業

58,688 千円

(財源: 県補助金 13,275千円
県委託金 1,140千円)

○目的 野生鳥獣による被害から農林産物を守り、経営意欲の低下を防ぐ。

○事業概要 1 野生鳥獣被害防除事業

被害対策用防除資材の購入等に対する助成

2 鳥獣被害対策緩衝地帯整備モデル事業

被害地区の里山林の除伐及び藪の刈払い

3 有害鳥獣捕獲に対する支援

有害鳥獣捕獲報償金、見回り報償金

新規 4 有害鳥獣被害防除活動への支援



臨時 ④ 白樺荘木質バイオマスボイラー設置事業

84,000千円(繰入金 84,000千円)

○目的 新たな木質燃料の活用により、木材利用の促進と地球温暖化対策を推進する。

○事業概要 南アルプス赤石温泉白樺荘に木質バイオマスボイラーを設置



南アルプス赤石温泉白樺荘

(20) 姉妹都市・友好都市交流事業について(生活文化局)

① 姉妹都市交流事業

2,384 千円

- 目的 カンヌ市と静岡市の姉妹都市提携20周年を記念し、両市の友好関係を深めるとともに、今後のさらなる交流につなげるため、親善使節団の派遣等を実施する。
- 事業概要
 - ・親善使節団の派遣
 - ・カンヌ市来訪団の受入
 - ・姉妹都市提携20周年記念行事の開催

② フェ市日本語学校生招へい事業

1,206 千円

- 目的 友好都市であるベトナム フェ市との交流事業として実施するもので、人材育成による国際貢献を推進し、また、研修生が帰国後に友好都市交流におけるリーダー的役割を担うことが期待される。
- 事業概要

1 フェ市日本語学校生招へい事業

平成20年度から3年間にわたり実施してきたフェ市日本語学校生招へい事業の新たな展開として、教育、産業、環境など新たな分野で活躍を期待される者2名を招へいし、市内で研修を実施する。

2 フェ市職員派遣事業

新たな交流分野の洗い出しやJICA、自治体国際化協会事業の活用を推進するため、フェ市に職員2名を派遣し、現地調査、協議等を行う。

受入れイメージ

平成19年 フェ市研修員受入事業(JICA事業)



下水道開削工事現場視察



中島浄化センター視察

Ⅱ 快適で高品質な

都市基盤の確立

(21) 市街地再開発事業について(都市局)

○目的 都市防災の強化、都市機能の更新及び高度化による中心市街地の魅力向上や周辺地区の賑わいを創出するため、市街地再開発事業等を推進する。

① 静岡呉服町第一地区市街地再開発事業

540,100 千円

(財源:国補助金243,045千円
繰入金 290,000千円)

○事業概要 静岡呉服町第一地区市街地再開発事業の建築工事、解体工事、補償等に対して助成する。
施行区域:約0.7ha、延床面積:約55,400㎡(地下1階、地上29階建)

② 清水駅西第一地区市街地再開発事業

799,100 千円

(財源:国補助金490,200千円
繰入金 300,000千円)

○事業概要 清水駅西第一地区市街地再開発事業の建築工事等に対して助成する。
施行区域:約0.6ha、延床面積:約31,600㎡(地下1階、地上25階建)

新規 ③ 静岡駅前南町10地区市街地再開発事業

61,120 千円

(財源:国補助金30,560千円
繰入金 10,000千円)

○事業概要 静岡駅前南町10地区市街地再開発事業の基本設計、現況調査等に対して助成する。
施行区域:約0.3ha、延床面積:約22,500㎡(地下1階、地上29階建)

新規 ④ 静岡呉服町第二地区市街地再開発事業

17,000 千円

(財源:国補助金8,500千円)

○事業概要 静岡呉服町第二地区市街地再開発事業の現況調査等に対して助成する。
施行区域:約0.4ha、延床面積:約19,600㎡(地下1階、地上12階建)

新規 ⑤ 草薙駅南口地区市街地再開発事業

19,720 千円

(財源:国補助金9,860千円)

○事業概要 草薙駅南口地区市街地再開発事業の事業計画作成、現況調査
に対して助成する。

施行区域:約0.5ha、延床面積:約23,500㎡(地上26階建)

⑥ 優良建築物等整備事業

302,600 千円

(財源:国補助金141,300千円)

○事業概要 鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業の 200,000 千円
建築工事等に対して助成する。

施行区域:約1.5ha、延床面積:約85,600㎡(地下1階、地上11階建)

清水駅西第二地区優良建築物等整備 102,600 千円

事業の建築工事等に対して助成する。

施行区域:約0.1ha、延床面積:約4,600㎡(地下1階、地上13階建)



静岡呉服町第一地区



清水駅西第一地区



鷹匠1-14地区



清水駅西第二地区

(22) 地域総合整備資金貸付事業について(経営管理局)

臨時 ① 地域総合整備資金貸付事業

2,318,000 千円 (財源:市債2,318,000千円)

○目的 静岡都心における鉄道駅・バスターミナル機能の効率化、中心市街地にふさわしい快適な空間の創出、回遊性の向上及び広域商業活力の充実等を図るため、大型商業施設、新静岡駅及びバスターミナルからなる施設(新静岡センター)の再整備に対し、事業費に係る借入金の一部を融資する。

○事業概要 地域総合整備資金貸付制度の概要

●融資対象事業の要件

公益性等の観点から実施され、市の総合計画との整合性を持つなど、所定の要件を満たす地域振興に資する民間事業

●融資限度額

対象事業に係る借入総額の20%以内かつ、24億円(複合施設は36億円)以下

●融資期間

5年以上15年以内(うち5年以内の据え置き期間を含む。)

●利率

無利子

●償還方法

元金均等半年賦償還

施設概要

●位置

葵区鷹匠一丁目1番1号 他

●構造

鉄骨造 地下1階 地上11階

●用途

商業施設、駐車場、バスターミナル、鉄道駅 他



位置図



完成予定図

(23) 土地区画整理事業について(都市局)

① 東静岡駅周辺土地区画整理事業 3,595,423 千円

(財源:国補助金1,579,600千円
諸収入 21,287千円
市債 1,398,300千円
ほか)

○目的 東静岡副都心として魅力ある都市拠点地区の形成と周辺市街地の再生を図るため、都市基盤整備を実施する。

○事業概要 東静岡南北幹線JRこ線橋工事委託、街路築造工事及び建物等移転補償等を実施する。

総事業費:490億円、面積:50.5ha



東静岡中央線



東静岡南北幹線橋梁

② 清水駅西土地区画整理事業 498,465 千円

(財源:国補助金160,410千円
市債 145,900千円
ほか)

○目的 清水都心としてにぎわいと風格のある都市拠点づくりと、既成市街地の再生を図るため、土地区画整理事業を実施する。

○事業概要 清水駅西口駅前広場整備工事、電線共同溝整備工事、街路築造工事及び移設補償を実施する。

総事業費:約56億円、面積:4.3ha



清水駅西口駅前広場

③ 大谷土地区画整理事業

288,338 千円

(財源:国補助金35,750千円
財産収入87,341千円
市債 26,300千円
ほか)

○目的 地区中央部の嵩上げ及び排水不良の解決により、良好な住環境を整備するため、土地区画整理事業を実施する。

○事業概要 街路築造工事及び換地調整用地買戻し等を実施する。

総事業費:181億円、面積:38.7ha



大谷不動山前線

④ 三保羽衣土地区画整理事業

586,000 千円

(財源:国補助金224,050千円
市債 309,400千円)

○目的 計画的な公共施設の整備改善と良好な環境の宅地供給を図るため、土地区画整理事業を推進する。

○事業概要 移転補償及び道路築造工事等に対して助成する。

総事業費(組合):約65億円、面積:20.8ha

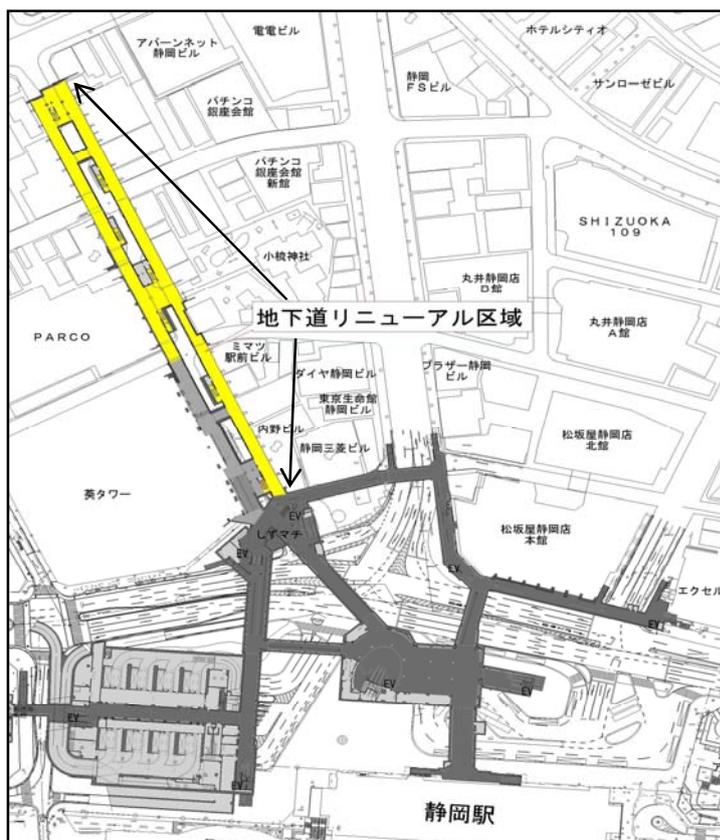
(24) 駅周辺整備事業について(都市局)

① 静岡駅北口周辺整備費 362,100 千円

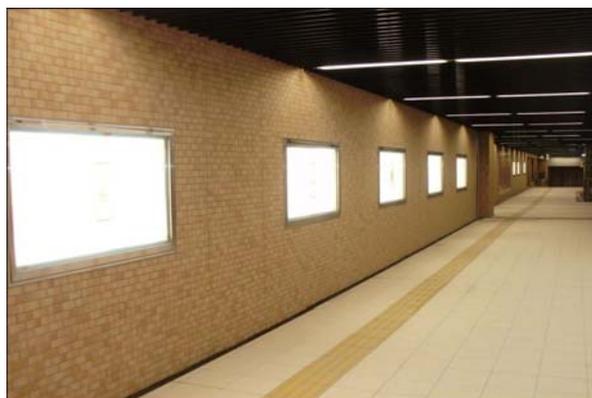
(財源:国補助金162,945千円
市債 179,200千円)

○目的 歩行者の快適性及び中心市街地の賑わいの向上を図るため、
静岡駅北口周辺の整備を実施する。

○事業概要 紺屋町地下道の内装リニューアル工事を実施する。(L=約210m)



整備区域図(静岡駅北口地下道配置図)



完成イメージ(葵タワー前地下道)

② 安倍川駅周辺整備事業 396,800 千円

(財源:国補助金138,610千円
市債 241,000千円)

○目的 JR安倍川駅周辺の交通環境の改善を図るため、東西自由通路及び駅前広場等の整備を実施する。

○事業概要 東西自由通路の設計及び駅前広場用地取得等を実施する。

③ 草薙駅周辺整備事業 29,040 千円

(財源:国補助金6,880千円
市債 7,800千円)

○目的 JR草薙駅の交通結節機能の向上を図るため、南北自由通路及び北口駅前広場等の整備を実施する。

○事業概要 アクセス道路、北口駅前広場等の設計及び南北自由通路等の整備に向けた事業認可資料作成を実施する。

(25)大谷・小鹿地区まちづくり計画事業について(都市局)

① 大谷・小鹿地区まちづくり計画事業 100,000 千円

(財源:国補助金39,000千円)

○目的 大谷・小鹿地区について、東名新インターチェンジの設置と併せて、土地利用計画の策定に向け、ランドデザイン等を検討する。

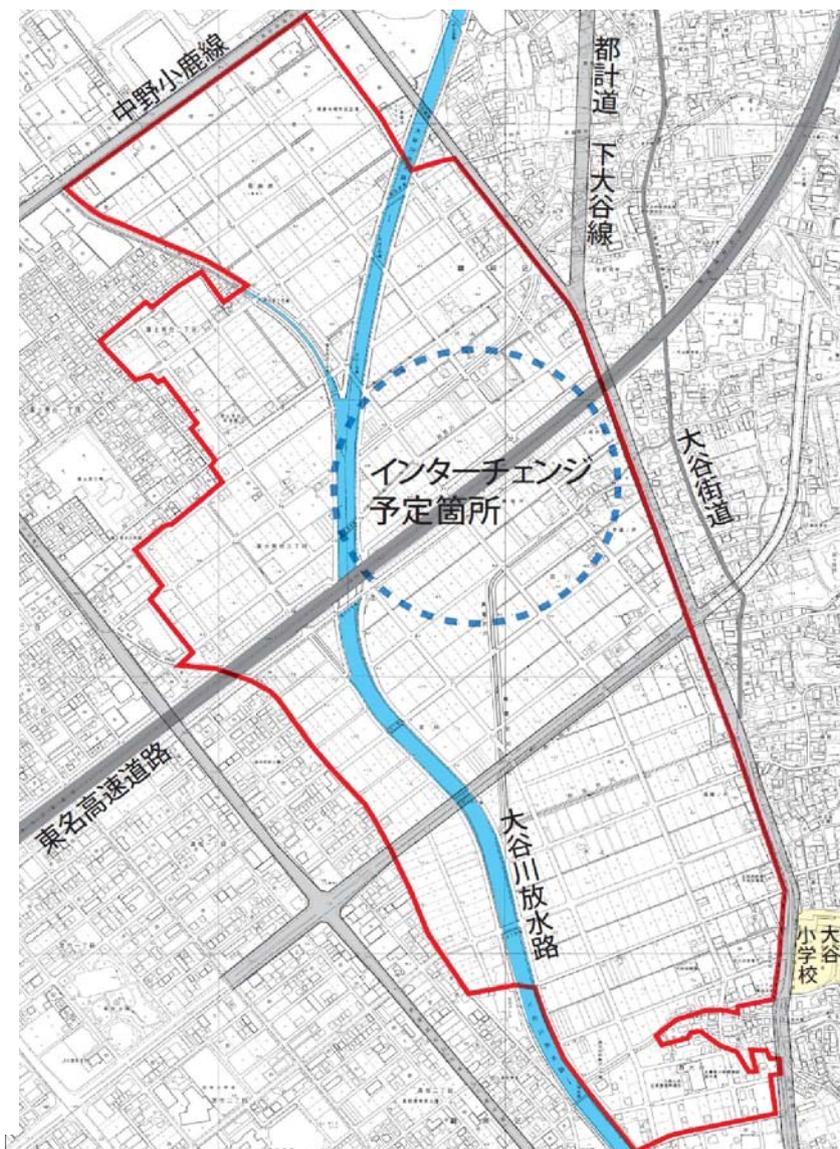
○事業概要 大谷・小鹿地区まちづくりランドデザインの検討

区画整理事業可能性調査

環境アセスメント調査

新インターチェンジ設置の検討

(協議会運営補助、アクセス道路現地測量及び概略設計)



(26) 街路整備事業について(都市局)

① 街路整備事業

4,321,397 千円

(財源:国補助金1,514,150千円
市債 2,302,000千円
ほか)

○目的 円滑な交通の確保及び安全で快適な都市生活の実現のため、
街路整備を実施する。

○活力創出基盤整備総合交付金事業 2,539,282 千円

静岡駅賤機線、下大谷線 ほか

○市街地整備総合交付金事業 277,000 千円

一里山長崎線 ほか

○街路整備促進事業

日の出町押切線、宮前岳美線、丸子池田線 ほか 1,505,115 千円



静岡駅賤機線



日の出町押切線



丸子池田線

(27) 道路新設改良事業(国県道・市道)について(建設局)

① 道路新設改良事業(国県道) 7,089,890 千円

(財源: 国補助金 2,242,050千円
 県補助金 18,716千円
 諸収入 200,094千円
 市債 3,709,300千円)

○目的 市内の重要幹線である国県道の新設(バイパス整備)、拡幅改良整備を行う。

○活力創出基盤整備総合交付金事業

(国)362号(羽鳥～安西)、(国)150号(静岡バイパス)、

(主)井川湖御幸線(下～松富上組)、(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

4,071,000 千円

○地方特定道路事業

2,285,000 千円

○道路改良事業

724,890 千円

○道路整備調査

9,000 千円



(国)362号(安西橋)



(国)150号(静岡バイパス/駿河区中島)

② 道路新設改良事業(市道) 3,659,895 千円

(財源: 国補助金 321,500千円
 諸収入 21,071千円
 市債 2,633,400千円)

○目的 住民の生活に直結する生活道路の新設、拡幅改良整備を行う。

○道整備交付金事業

有永漆山線、北東3号線、静岡下島線、庵原町58号線

603,000 千円

○市街地整備交付金事業

50,000 千円

○地方特定道路事業

244,000 千円

○道路改良事業

2,762,895 千円

(28) 新東名スマートIC設置促進事業について(建設局)

① 新東名静岡SAスマートIC設置促進事業

245,330 千円

(財源:国補助金 5,500千円
市債 156,300千円)

○目的 新東名静岡SA(仮称)へのスマートIC設置へ向けて、アクセス道路の整備を行う。

○事業概要 アクセス道路改良工事(橋りょう上部工等)、道路案内標識設置工事



事業箇所位置案内図

(29) 自転車道ネットワーク整備事業について(建設局)

① 自転車道ネットワーク整備事業

246,000 千円

(財源:国補助金 135,300千円
市債 99,600千円)

○目的 歩道内で自転車と歩行者が錯綜し、事故の危険性がある路線について自転車レーン等を整備することにより、安全性の確保を図る。

○事業概要 県道 静岡環状線(葵区東草深町 外)自転車レーン整備、
県道 高松日出線(駿河区高松 外)自転車レーン整備 ほか
平成23年度整備延長4.5km



県道 静岡環状線(葵区東草深町)



県道 高松日出線(駿河区高松)



整備例(袖師村松線)

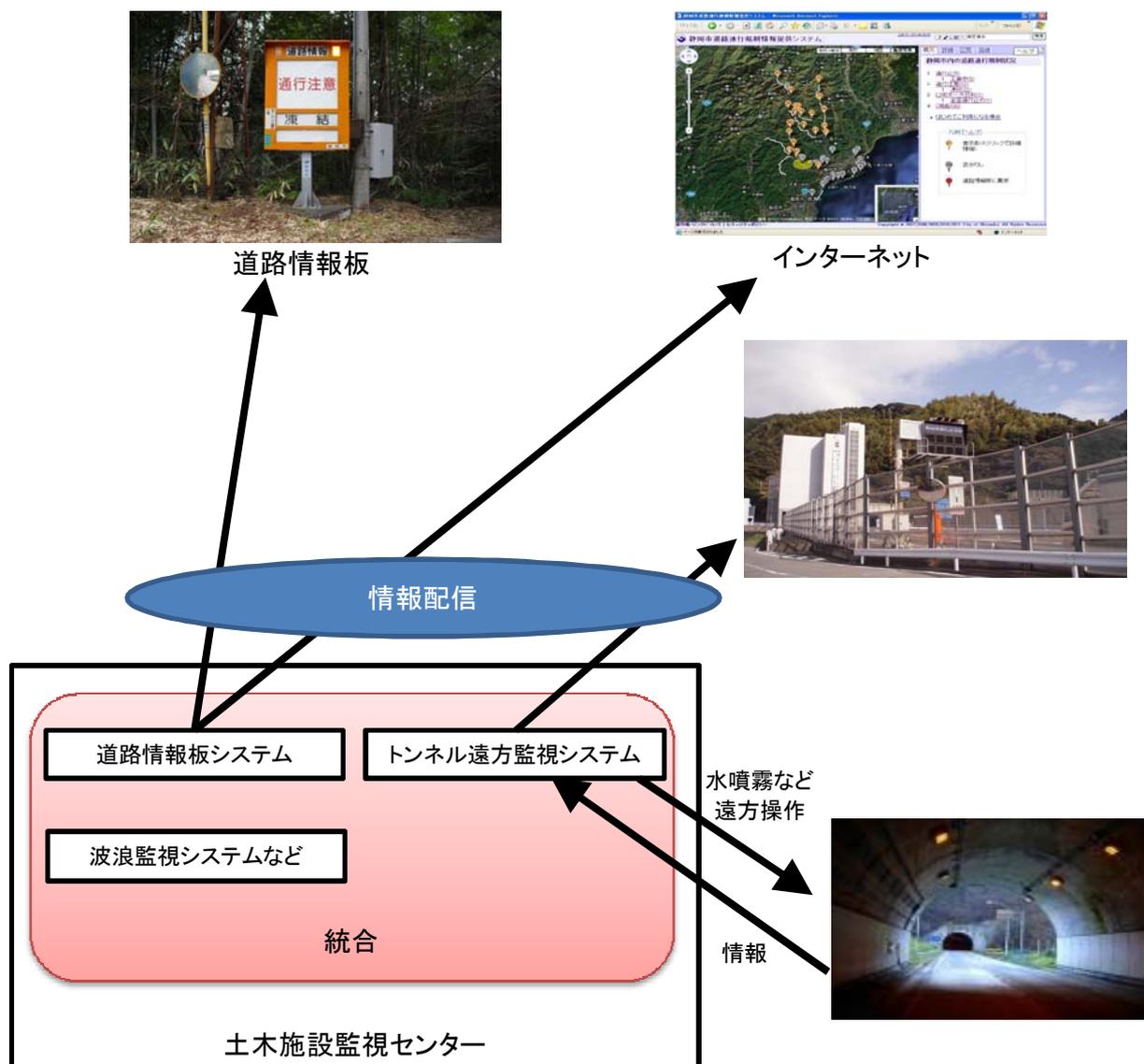
(30) 道路情報等提供システム構築事業について(建設局)

臨時① 道路情報等提供システム構築事業 169,590 千円

(財源:負担金 26,898千円
国補助金11,000千円)

○目的 異常気象による道路の損壊情報等を素早く入手・集約し、より迅速に道路情報等を道路情報板やインターネット等により配信することで、道路利用者や市民の安全・安心の向上を図る。

○事業概要 既存の道路情報板システムや波浪監視カメラなどに加え、トンネル遠方監視システム、土木施設監視センター及び非常用発電設備を整備・統合した道路情報等提供システムを構築する。



Ⅲ 安全・安心な

生活環境の整備

(31)浸水対策推進プラン事業について(建設局)

① 都市広域基幹河川改修事業(公共) 84,000 千円

(財源:国補助金42,000千円
県補助金14,000千円
市債 25,200千円)

○目的 都市広域基幹河川の改修事業を実施し、河川の流水機能を維持し浸水被害の軽減を図る。

○事業概要 二級河川浜川の改修事業(橋りょう上下部工、護岸工(48m)等)



二級河川浜川(駿河区西島)

② 河川改修事業(市単) 367,000 千円

(財源:市債276,400千円)

○目的 静岡市総合計画に基づき、市管理河川の浸水対策のための河川改修を実施し、災害の未然防止及び浸水被害の軽減を図る。

○事業概要 準用河川安東川改修、光福寺沢改修、唐瀬地内ポンプ設置 ほか



準用河川安東川(葵区北安東)



光福寺沢(清水区柏尾)

(32) 下水道施設整備事業(雨水)について(上下水道局)

① 公共下水道事業(雨水) 1,229,621 千円

(財源: 国補助金 512,185千円
企業債 611,853千円 ほか)

○目的 「静岡市浸水対策推進プラン」に基づき、浸水常習地区の解消を図るため、施設整備を実施する。

○公共下水道(雨水)の整備 1,229,621 千円
駿河区寺田地区、葵区大岩地区ほか

(33) 消防施設整備事業について(消防局)

臨時 ① 消防庁舎建設等事業

392,478 千円

(財源:国補助金 37,712千円
県補助金 413千円
市債 211,200千円)

○目的 消防防災活動の拠点施設を建設し、併せて必要な車両等を配備することにより、災害対応力の強化を図り、市民の安全安心を確保する。

○事業概要

- 1 消防本部・石田消防署庁舎建設事業 40,000 千円
消防本部と石田消防署の合築による新消防庁舎の基本設計を実施する。
- 2 仮称安倍消防出張所整備事業 352,478 千円
葵区北部地区の消防体制を強化するため、新たに消防出張所を建設し、車両などの資機材を配備するとともに、消防総合情報システムを整備する。



消防本部・石田消防署庁舎等建設予定地

② 消防団庁舎整備事業

108,462 千円

(財源: 諸収入 10,101千円
市債 73,300千円)

○目的 消防団の活動拠点施設を整備し、地域に密着した消防団活動の確保と災害対応力の強化を図る。

○事業概要

- 1 消防団庁舎建設準備として実施設計業務等を実施する。
静岡第2分団(葵区双葉町)、静岡第7分団(葵区音羽町)
静岡第28分団(葵区羽鳥大門町)、清水第14分団(清水区横砂本町)
- 2 消防団庁舎建設工事等を実施する。
静岡第23分団(駿河区向敷地)、静岡第28分団(葵区羽鳥大門町)
清水第13分団(清水区七ツ新屋)
清水第11分団(清水区鳥坂:既存庁舎解体工事のみ)



静岡第23分団(駿河区向敷地)庁舎



清水第13分団(清水区七ツ新屋)庁舎

(34) 消防救急広域化推進事業について(消防局)

臨時 ① 消防救急広域化の推進事業

13,967 千円

(財源: 県補助金 4,683千円)

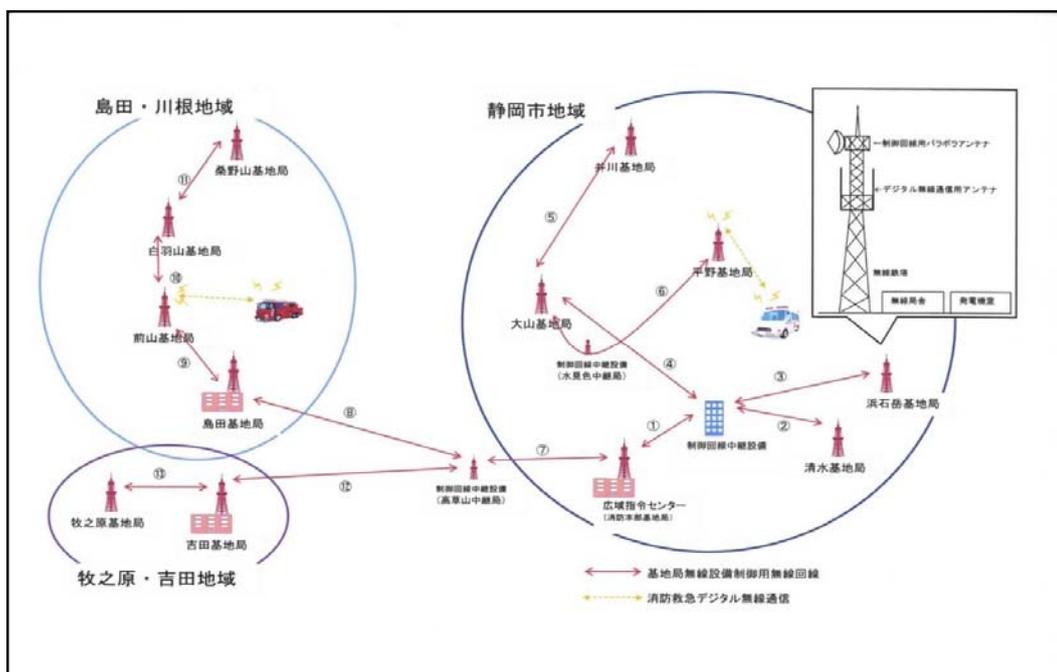
○目的 消防の規模を拡大することで、行財政上の様々なスケールメリットを活かし、消防力の強化による住民サービスの向上を図るため、平成28年4月からの新体制への移行を目指し、消防救急広域化を推進する。

静岡地域消防救急広域化の枠組み

静岡市 島田市 牧之原市 吉田町 川根本町

○事業概要

- 1 静岡地域消防救急広域化準備事業 485 千円
3市2町による消防救急広域化の実現に向けて、広域化後の消防体制、出動計画等の制度設計に共同して取り組む。
- 2 消防救急無線デジタル化整備事業 13,482 千円
消防救急無線デジタル化の整備に向けて、3市2町による消防救急広域化を見据えて、共同して基本設計、電波伝搬調査の業務を実施する。



無線基地局配置想定図(消防救急無線デジタル化整備事業)

(35) 水防活動事業について(経営管理局)

① 水防活動事業 **58,396 千円** (財源: 国補助金6,500千円)
県補助金2,299千円)

○目的 水害予防と発災時の被害軽減を図るため、水防活動を実施する。

○事業概要

1 水防団運営	40,715 千円
水防団報酬、水防施設維持管理、 水防団交付金、団員被服	
2 水防演習 ほか	4,681 千円



水防演習状況

臨時 3 洪水ハザードマップ作成 13,000 千円
(平成24年度債務 29,000 千円)

市内5河川の洪水ハザードマップを作成・周知することにより、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進める。

(対象河川) 巴川、長尾川、丸子川、興津川、庵原川

(36) 建築物耐震対策事業について(都市局)

○目的 災害に強いまちづくりの実現に向け、東海地震等発生時における人的、物的被害の減少を図るため、耐震対策事業を実施する。

① わが家の専門家診断事業 13,500 千円

(財源:国補助金6,750千円
県補助金5,060千円)

○事業概要 昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、耐震診断を行うため、専門家を派遣する。 予定件数 300件

② 住宅・建築物耐震診断補強計画策定事業費助成

56,900 千円

(財源:国補助金28,450千円)

○事業概要 昭和56年5月末以前に建築された、住宅及び建築物の耐震診断又は補強計画策定を行う所有者に対し、費用の一部を助成する。
・木造住宅の補強計画 300件

③ 木造住宅耐震補強事業費助成 76,500 千円

(財源:国補助金12,000千円
県補助金52,500千円)

○事業概要 昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、耐震診断及び補強計画に基づき、耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成する。 一般世帯 75件 高齢者・障害者世帯 75件



④ 建築物耐震補強事業費助成 19,400 千円

(財源:国補助金9,700千円)

○事業概要 昭和56年5月末以前に建築された多数の者が利用する建築物等を対象に、耐震改修促進法又は建築基準法の認定を受け、耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成する。

(37) 市民福祉を推進する事業について(保健福祉子ども局)

新規 ① 災害時要援護者避難支援推進事業

17,661 千円

(財源: 県補助金 3,387千円
諸収入 17千円)

○目的 災害時に支援が必要な要援護者の支援体制を確立し、安心安全なまちをつくる。

○事業概要 災害時要援護者に関し、市が保有する情報を活用し、本人同意のもと、地域の自主防災組織等に情報提供を行い、災害時における要援護者の安否確認や避難誘導等の支援体制を確立する。

② 地区民生委員・児童委員協議会活動への支援 131,473 千円

○目的 地域において、社会福祉活動の主要な担い手である地区民生委員・児童委員協議会の活動を支援し、本市の地域福祉の推進を図る。

○事業概要 民生委員法に基づき、地区民生委員・児童委員協議会の活動に対して必要な経費を負担する。

【負担金支出先】

法定地区民生委員児童委員協議会

61地区 定数1,177人

③ 日常生活自立支援事業

79,483 千円

(財源:国補助金 37,911千円)

○目的 日常生活を営むことに支障がある方が、援助を受けながら自立した地域生活が送れるよう、その方の権利を擁護する。

○事業概要 国の要綱に基づき、日常生活自立支援事業を実施する市社会福祉協議会に対し補助金を交付する。

※日常生活自立支援事業とは

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等、日常生活を営むことに支障のある方に対し、福祉サービス利用について、相談、情報提供、契約締結等の支援を行うほか、日常的な金銭管理や重要書類の預かり等のサービスを通じて、地域で自立した生活を送ることができるよう支援を行う。

④ 生活保護扶助事業

12,708,375 千円

(財源:国負担金 9,522,764千円
負担金 1,024千円)

○目的 憲法第25条の理念に基づき、生活に困窮する全ての国民に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

○事業概要 1 生活保護扶助費

12,600,000 千円

生活保護法に基づき、生活・住宅・教育・介護・医療・出産・生業・葬祭の各扶助を実施するとともに、保護施設事務費の支払いを行う。

2 救護所運営費

108,375 千円

生活保護法に基づき、静岡市救護所の管理運営を行う。

(38) 障害のある人の生活を支える事業について(保健福祉子ども局)

① 障害者自立支援法に基づく各種給付等

7,391,706 千円

(財源: 国負担金 3,631,293千円
国補助金 2,660千円
県負担金 1,622,171千円
県補助金 76,751千円)

○目的 障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービスや自立支援医療に要する費用を給付するほか、同法の円滑な施行を図るため各種支援事業を実施する。

- 事業概要
- 1 自立支援給付費 5,836,999 千円
居宅介護や就労支援等の障害福祉サービスにかかる費用を給付
 - 2 自立支援医療費 1,346,877 千円
更生医療、育成医療、精神通院医療にかかる費用を給付
 - 3 補装具給付費 108,722 千円
身体障害のある人の失われた機能を補う用具の購入や修理費用を給付
 - 4 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業 99,108 千円
障害福祉サービス事業所に対する激変緩和措置及び緊急支援事業等を実施



(障害福祉サービス事業所での作業風景)

② 地域生活支援事業

721,229 千円

(財源: 国補助金 271,297千円
県補助金 137,148千円
使用料 482千円
手数料 102千円
雑入 59千円)

○目的 障害者自立支援法に基づき、障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、地域の特性や利用者の状況に応じ、相談支援事業をはじめとする各種事業を実施する。

○事業概要(主なもの)

- 1 相談支援事業 103,339 千円
障害のある人やその家族が地域で安全・安心に生活できるよう、様々な問題に対して相談に応じ、必要な情報提供や支援を実施
- 2 日常生活用具の給付事業 145,613 千円
重度障害のある人の日常の便宜を図る各種生活用具にかかる費用を給付
- 3 移動支援事業 175,152 千円
屋外での移動が困難な障害のある人の移動支援にかかる費用を給付
- 4 地域活動支援センター事業 96,296 千円
障害のある人の日中における活動の機会や、社会との交流の場を確保
- 5 日中一時支援事業 113,998 千円
障害のある人の日中における一時的な見守り等にかかる費用を給付
- 6 静岡市支援センター「なごやか」の管理運営 29,973千円
精神障害のある人に対し、各種の地域生活支援・相談支援事業を実施

「なごやか」を含む施設外観
(城東保健福祉エリア内)



拡充 ③ 精神障害者地域生活移行支援事業

6,646 千円

(財源: 国補助金 1,876千円
県補助金 1,965千円
諸収入 10千円)

○目的 入院治療の必要性がないにもかかわらず、長期入院を余儀なくされている精神障害のある人が、退院して地域で安心して生活できるよう、支援体制を構築する。

○事業概要

新規 1 精神障害者地域移行支援事業 3,753 千円

受入条件が整えば退院可能な精神障害者の退院支援や地域生活支援のため地域移行支援員を配置するとともに、地域生活に必要な体制整備、人材育成、普及啓発を行う。

2 精神障害者地域生活体験支援事業 2,893 千円

長期入院中の精神障害者に対し、宿泊を伴う地域生活体験の機会を提供し、当事者の地域生活のイメージ形成を促すこと等により、地域生活へ円滑に移行できるよう支援を行う。

臨時④ 民間障害者福祉施設整備費助成

764,927 千円

(財源: 国補助金 40,391千円
県補助金 680,862千円)

○目的 民間障害者福祉施設の新設及び改築等に伴う整備費を助成することにより、安全・安心に利用できる障害福祉サービスの提供基盤を整備する。

○事業概要 1 耐震化等整備費助成

704,340 千円

昭和56年5月末以前に建設された入所施設の耐震化、消防法施行令の改正に伴うスプリンクラー設備の整備を促進するため、施設の改築等に要する経費を助成する。

【補助金交付先】

社会福祉法人 玉柏会

宍原荘(清水区宍原)

社会福祉法人 明光会

安倍寮・安倍学園(葵区慈悲尾)

社会福祉法人 かなの家

かなのすまい(葵区安倍口新田)



(宍原荘改修前全景)



(宍原荘改修後イメージ図)

2 施設整備費助成

60,587 千円

障害福祉サービスの提供基盤の整備を促進するため、施設の創設に要する経費を助成する。

【補助金交付先】

社会福祉法人 愛誠会

仮称アトリエ ポルト(葵区薬師)

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会

仮称第2グループホームとも(清水区北脇)

(39) 人間関係豊かな長寿のまちを確立する事業について

(保健福祉子ども局)

① 高齢者在宅福祉サービス事業

219,998 千円

(財源: 使用料 122千円
手数料 176千円
財産収入 24千円
諸収入 19千円)

○目的 高齢者が一人暮らしになっても、住み慣れた地域で生活できるよう、各種福祉サービスを提供するとともに、各方面からの見守り体制を整備する。

○事業概要(主なもの)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1 ひとりぐらし高齢者等緊急通報体制整備事業 | 43,542 千円 |
| 2 高齢者生活福祉センター運営 | 93,293 千円 |
| 3 ひとりぐらし老人食事サービス事業 | 35,494 千円 |
| 4 生活支援型家事援助サービス事業 | 639 千円 |
| 5 介護予防型デイサービス事業 | 1,364 千円 |
| 6 高齢者等住宅改造費補助金 | 30,000 千円 |
| 7 自動消火器設置事業 | 374 千円 |
| 8 紙おむつ支給事業 (事業費は介護保険法に基づく地域支援事業に記載) | |

臨時 ② 24時間対応定期巡回・随時対応サービス事業

28,000 千円

(財源: 国補助金 28,000千円)

○目的 平成24年度の介護保険制度改正に先駆け、24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの円滑な導入を図るためのモデル事業を実施する。

○事業概要 居宅要介護者に対し、介護と看護の連携の下で、24時間対応で短時間の定期巡回訪問サービスと通報システムによる随時の対応サービスを適宜・適切に組み合わせて提供し、高齢者が住み慣れた地域の在宅で安心して生活を継続するための効果的なサービス提供のあり方について検証を行う。

- 1 定期巡回訪問サービス事業
- 2 随時の対応サービス事業
- 3 事業内容の検証等に関する事業

拡充 ③ 介護保険法に基づく地域支援事業

940,406 千円

(財源: 保険料	187,844千円
手数料	1,159千円
国補助金	348,362千円
支払基金交付金	54,648千円
県補助金	174,181千円
一般会計繰入金	174,181千円
雑入	31千円)

○目的 被保険者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。

○事業概要(主なもの)

1 「しぞ〜かでん伝体操」を活用した介護予防事業

78,967 千円

拡充 2 S型デイサービス事業 (201会場 うち新規予定17会場)

51,031 千円

3 地域包括支援センター事業 (24圏域)

617,520 千円

4 紙おむつ支給事業

85,081 千円



「しぞ〜かでん伝体操」パンフレット



「しぞ〜かでん伝体操」の様子

④ 民間特別養護老人ホーム等建設費助成

408,375 千円

(財源:市債 349,200千円)

○目的 特別養護老人ホームの建設費を助成することで、施設の建設を促進し、施設入所待機者の解消に努める。

○事業概要 平成23年度整備計画 110床

臨時 ⑤ 清水船越老人福祉センター改築事業

257,810 千円

(財源:市債 189,000千円)

○目的 老人福祉法に基づき、高齢者に関する各種の相談に応ずるとともに、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するため、老人福祉センターを設置する。

○事業概要 清水船越老人福祉センターの老朽化に伴い、市産材を活用しつつ改築を行う。

建設地 : 清水区船越町内

構造 : 木造平屋建 699.42㎡



(完成予想イメージ図)

(40)健康づくりの推進事業について(保健福祉子ども局)

拡充 ① がん対策事業

602,019 千円

(財源: 国補助金 74,136千円
 県補助金 1,525千円
 基金繰入金 250,000千円
 諸収入 13千円)

○目的 がん等を早期発見し早期治療に繋げるため、検診の大切さをPRして受診機会のない人の検診を実施し、受診率向上を図る。

○事業概要 1 がん検診事業 456,926 千円

- 胃がん検診 (35歳以上)
- 乳がん検診 (40歳以上の女性:2年に1回)
- 子宮頸がん検診(20歳以上の女性:2年に1回)
- 大腸がん検診 (40歳以上)
- 肺がん検診 (40歳以上:希望者には喀痰検査を追加)
- 前立腺がん検診(50歳以上の男性)
- 骨粗しょう症検診(30歳以上の女性)
- 歯周疾患検診 (40歳以上)

2 がん対策推進事業 145,093 千円

・女性特有のがん検診推進事業

特定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん及び乳がんの検診費用が無料となるクーポン券と検診手帳を送付する。

対象: 子宮頸がん 20.25.30.35.40歳の女性
 乳がん 40.45.50.55.60歳の女性

新規 ・働く世代への大腸がん検診推進事業

特定の年齢に達した市民に対し、大腸がんの検診費用が無料となるクーポン券と検診手帳を送付。

さらに検査希望者には、自宅に検査キットを送付する。

対象: 40.45.50.55.60歳の男女



クーポン券・検診手帳(女性特有のがん検診)

拡充 ② 各種予防接種事業

2,156,391 千円

(財源: 県補助金 439,925千円
県委託金 48千円
諸収入 26千円)

○目的 予防接種を実施することにより、感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の防止を図る。

○事業概要 1 予防接種法に基づく定期接種 1,191,967 千円

・接種対象の月齢又は年齢の子どもに対し行う予防接種

MR(麻しん・風しん)、三種混合、二種混合、ポリオ、BCG、日本脳炎

拡充 ※MRについては、平成23年度より、標準接種年齢時に接種できなかった小学5年生まで、公費接種対象者を拡大する。

・高齢者等に対し行う予防接種

インフルエンザ

臨時 2 子宮頸がん等ワクチン接種事業 964,424 千円

希望者に対し、子宮頸がん予防(HPV)、ヒブ(インフルエンザ菌b型)及び小児用肺炎球菌の3種類のワクチン接種を行う。

・子宮頸がん予防(HPV)ワクチン

対象: 中学1年生から高校1年生までに相当する年齢の女子

(平成22年度に接種を受けた高校2年生に相当する年齢の女子も対象とする。)

・ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン

対象: 0歳から4歳までの乳幼児

・小児用肺炎球菌ワクチン

対象: 0歳から4歳までの乳幼児

拡充 ③ 医師等確保対策事業

17,250 千円

○目的 市民が安心して医療を受けられるよう、地域医療体制を維持するため、各病院が医療職員を確保しやすい環境整備を行う。

○事業概要

- 拡充 1 公的病院医師等確保対策事業費補助金 11,250 千円
市内の公的5病院を対象に、当該病院の職員（医療職）求人募集に係る経費に対し助成を行う。
平成23年度より、補助基準上限額を300万円から450万円に増額。
- 新規 2 公的病院看護師修学資金貸与事業費補助金 6,000 千円
市内の公的5病院を対象に、当該病院の看護師修学資金貸与事業に係る経費に対し助成を行う。
1人あたり補助限度月額50千円に対し1/2補助

拡充 ④ 自殺対策事業

23,249 千円

(財源: 国補助金 959千円
県補助金 17,150千円
基金繰入金 3,000千円)

○目的 普及啓発の強化や、相談体制の充実等により、市民の自殺に対する理解を広め、早期発見・早期対応を行い、自殺を防ぐ。

○事業概要 1 自殺対策事業

3,099 千円

静岡市自殺対策行動計画に基づき、静岡市自殺対策連絡協議会を開催する他、自殺予防週間街頭キャンペーン、かかりつけ医心の健康対応力向上研修等を実施する。

臨時 2 自殺対策緊急強化基金事業

17,150 千円

県の地域自殺対策緊急強化基金事業費補助金を活用し、対面型相談支援事業、電話相談支援事業、普及啓発事業の拡充等を実施する。

臨時 3 「住民生活に光をそそぐ交付金」事業

3,000 千円

「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、精神障害関係団体と連携した各種相談事業を実施する。



自殺予防週間街頭キャンペーン



普及啓発事業(自殺対策パネル展示)

臨時 ⑤ 急病センター・こころの健康センター建設事業

216,200 千円

(財源: 国補助金 70,372千円
市債 138,300千円)

○目的 市の中心部でアクセスの良い東静岡地区に、市域全体の準夜間の初期救急医療を行う「急病センター」と、心の健康づくりの中心となる「こころの健康センター」を移転建設する。

○事業概要 建設地: 東静岡駅周辺区画整理事業14街区
敷地面積3,504. 21㎡
建 物: 鉄骨造 2階建 延べ床面積2,400㎡程度
フロア配置: 1階 急病センター
2階 こころの健康センター
スケジュール: 設 計 平成22年度
建設工事 平成23～24年度
開所予定 平成25年4月

<各センターの業務内容>

急病センター

診療科目: 内科・小児科・外科

診療日時: 毎日 午後7時～午後10時

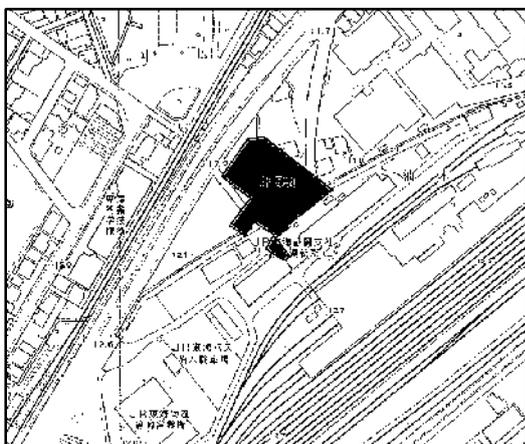
こころの健康センター

相談診療事業: うつ病集団認知療法、精神科デイケア事業

自殺者遺族のメンタルケア相談、精神保健福祉相談等

普及啓発事業: こころの病やメンタルヘルスに関する講演会の開催や

パンフレット作成等による知識の普及など



東静岡 位置図



完成予想イメージ図

(41) 子どもを産み育てるための支援事業について(保健福祉子ども局)

拡充 ① 子ども手当

14,877,784 千円

(財源: 国負担金 11,873,163千円
国委託金 30,450千円
県負担金 1,482,363千円
諸収入 213千円)

○目的 次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するため、子どもを養育している者に手当を支給する。

○事業概要 中学校終了前までの子ども1人あたり月額13,000円を支給する。
ただし、平成23年4月より3歳未満児童については、1人あたり月額20,000円を支給する。

② 子ども医療費助成

1,116,315 千円

(財源: 県補助金 125,912千円
諸収入 60,040千円)

○目的 児童の健やかな成長と保護者の経済的負担を軽減するため、子どもの入院、通院に係る医療費を助成する。

○事業概要 小学校就学前児童の入院・通院医療費は、自己負担金(1歳以上児のみ1回500円で月4回まで)を超える分を直接助成する。
小中学生の入院医療費は、高額医療費等を除き、申請により全額助成する。(自己負担なし)

拡充 ③ 妊婦健康診査

488,603 千円

(財源: 県補助金 159,268千円
基金繰入金 250,000千円)

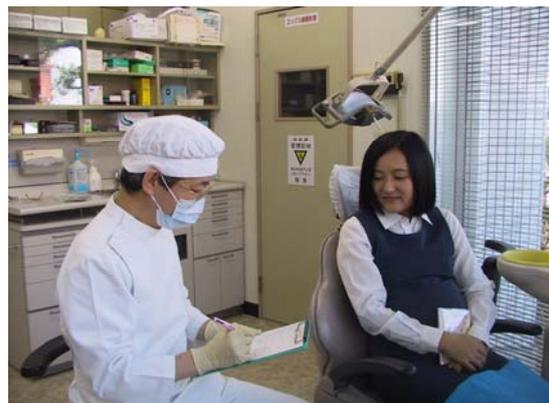
○目的 妊婦とお腹の赤ちゃんの健康状態を定期的に確認することにより、
安心で安全な出産が図られることを目的に実施する。

○事業概要 1 妊婦健診事業 482,328 千円
基本的な健診14回及び超音波検診4回、血液検査1回を県内医療
機関、助産所に委託し実施する。
里帰り等による県外での受診も助成する。

新規 2 妊婦歯科健診事業 6,275 千円
母子健康手帳と同時に交付する妊婦健診受診票に、歯科健診1回分
を追加し、市内歯科医療機関において無料健診を行う。



妊産婦にやさしい環境づくりを推進する
マタニティーマーク



妊婦歯科健診イメージ

拡充 ④ 不妊治療助成事業

123,800 千円

(財源: 国補助金 61,900千円)

○目的 医療保険が適用されず、高額な治療費のかかる特定不妊治療に対して、
費用の一部を助成し、不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図る。

○事業概要 対象治療: 指定医療機関で受けた体外受精、顕微鏡授精
対象者: 静岡市に住民登録がある、戸籍上の夫婦(所得制限あり)
助成内容: 1回につき上限15万円、1年度2回、通算5年度、10回まで
平成23年4月より、1年度目の助成回数を3回に拡大し実施
する。

新規 ⑤ 養育支援訪問事業

2,685 千円 (財源:国補助金 1,342千円)

○目的 子育て家庭における適切な養育の実施を確保するため、養育支援が特に必要であると判断した家庭を専門的資格を持つ訪問員が訪問し、養育に関する指導、助言等の支援を行う。

○事業概要 保健師や助産師等の資格を持つ訪問員が養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、育児指導または家事支援を行う。

拡充 ⑥ 子育てトーク事業

2,390 千円 (財源:国補助金 1,195千円)

○目的 安心して子どもを産み育てることができる子育て社会を形成するため、地域を基盤として実施する子育て支援事業に対して助成する。

○事業概要 「子育てトーク事業」を34地区61か所に、平成22年度より父親を対象として新設した「子育てパパトーク事業」を17地区17か所にそれぞれ拡大し助成する。



子育てパパトークの様子

拡充 ⑦ 里親事業

6,342 千円

(財源:国補助金 2,847千円)

- 目的 要保護児童が家庭に近い環境で生育できるよう、里親制度を普及促進する。
- 事業概要 里親制度の普及促進や里親委託の推進、里親への支援等の事業を実施する。
また、更なる里親制度の普及と里親委託率の向上をはかるため、里親事業の一部を委託する。

臨時 ⑧ 児童館建設事業

128,772 千円

(財源:国補助金 48,960千円
市債 66,000千円)

- 目的 次世代の担い手である児童の健全育成を図るため、地域社会における児童の育成環境を整備する。
- 事業概要 有度生涯学習交流館との複合施設として、仮称清水区西部地域児童館を整備する。



児童館の様子

(42) 保育環境を充実させる事業について(保健福祉子ども局)

① 市立保育所運営事業

1,690,545 千円

(財源:負担金 203,251千円
使用料 18,919千円
国補助金 9,200千円
諸収入 9,253千円)

○目的 保護者が働いているなど何らかの理由によって保育に欠ける児童を預り養護するため、市立保育所等を運営する。

○事業概要 46園の市立保育所を運営する。
また、待機児童対策として、待機児童園「おひさま」を運営する。

新規 ② 市立保育所空調設備整備事業

65,000 千円

○目的 保育環境の改善及び多様な保育ニーズに対応するため、空調設備のない3歳以上児童の保育室等に空調設備を整備する。

○事業概要 3歳以上児童の保育室及び遊戯室に空調設備のない保育所について、入所状況等を考慮し、順次空調設備を整備する。



設置予定園(服織保育園)



空調設備設置例

拡充 ③ 私立保育所等助成

6,697,392 千円

(財源:負担金 1,469,726千円
国補助金 1,685,621千円)

○目的 保育の質の確保や、多様化する保育ニーズにこたえるため、
私立保育所の運営費を助成する。

○事業概要 1 私立保育所等運営事業 5,617,026 千円
国が定めた保育単価に基づき、59園の私立保育所の運営に
要する経費を支出する。

拡充 2 私立認可保育所運営費助成 1,080,366 千円
59園の私立保育所における児童の処遇改善等に要する経費を
助成する。
さらに、乳幼児保育対策による保育の質の確保と待機児童の
縮減を促進するため助成を増額する。

新規 ④ 私立保育所園庭グリーン化助成

5,000 千円

○目的 園児の体力向上等の保育環境の向上及び芝生の管理等を通じた
地域コミュニティの活性化に寄与するため、私立保育所の園庭
芝生化への取り組みを助成する。

○事業概要 私立保育所の園庭芝生化事業を助成する。



園庭芝生化例

(43)特別支援教育の推進について(教育委員会)

拡充 ① 特別支援教育推進事業 112,603 千円

○目的 障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加のために、各幼稚園、各学校で行われている特別支援教育を支援、推進する。

○事業概要 特別な支援が必要な子どもの学習、生活を支え、学校等の運営を円滑にする特別支援教育支援員を派遣する。また、専門家による学校等への助言等を行う巡回相談や、相談員による障害のある子どもや保護者への相談活動等を実施し、適正な就学の実現を図る。
平成23年度から、特別支援教育支援員を97人から129人に、巡回相談を行う専門家を4人から5人に拡大して実施する。

② 特別支援教育センター運営事業 27,683 千円 (財源:諸収入 4,012千円)

○目的 特別支援教育の拠点としての特別支援教育センターの円滑な運営及び維持管理を図る。

○事業概要 幼児言語教室、特別支援相談室を統括するとともに、発達障害者支援センター等の関係機関とも連携しながら、特別支援教育の充実のため事業を企画、立案、実施する特別支援教育センターの運営及び維持管理を行う。

③ 幼児言語教室指導事業 1,169 千円

○目的 言語や発達に気になるところがある幼児に対し、早期に相談及び指導を行うことで、小学校への就学を円滑に進める。

○事業概要 特別支援教育センターを拠点に、市内4か所に幼児言語教室を設置し、指導員による言語・発達相談、言語指導及び幼児言語教室に通う幼児が在籍する幼稚園、保育園に対する園訪問を実施する。

(44)教育相談体制の充実について(教育委員会)

拡充 ① スクールカウンセリング事業

75,801 千円

(財源:国補助金 18,838千円)

○目的 学校へのスクールカウンセラーの派遣により、いじめや不登校、問題行動等の児童・生徒の心の問題への対応と、組織的な教育相談体制の向上を図る。

○事業概要 小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教員との面談や指導を行う。
平成23年度から、児童600人以上の小学校に対し、月8時間の配置時間を月10時間に拡大する。

拡充 ② スクールソーシャルワーカー活用事業

8,034 千円

(財源:国補助金 2,678千円)

○目的 スクールソーシャルワーカーの学校への派遣により、社会福祉等の専門的知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて問題解決を図る。

○事業概要 学校や地域の状況を考慮し選定した配置校に、スクールソーシャルワーカーを置き、児童生徒を取り巻く家庭環境等の問題に、関係機関と連携して対応する。
平成23年度から、スクールソーシャルワーカーを4人から5人に増員し、配置校を8校から10校に拡大する。

(45)学校図書館教育の推進について(教育委員会)

拡充 ① 学校図書館教育推進事業

56,786 千円

- 目的 学校司書の配置により、学校図書館の読書センター、資料センターとしての機能に加え、学習情報センターとしての機能の充実を図る。
- 事業概要 学校司書を12学級以上の小中学校から10学級以上の小中学校へ拡大して配置する。



学校図書館の様子

(46) 高等学校の整備について(教育委員会)

臨時 ① 仮称清庵地区新構想高等学校建設事業

1,495,980 千円

(財源:国補助金 30,591千円
市債 1,235,000千円)

○目的 県立庵原高校と市立清水商業高校との再編による新構想高校の校舎等を整備する。

○事業概要 平成21年度 基本設計
平成22年度 校舎棟実施設計
平成23年度 校舎棟建設工事、体育館棟実施設計
平成24年度 校舎棟建設工事、体育館棟建設工事
平成25年度 新構想高校開校、体育館棟建設工事
平成26年度 グラウンド整備

新規 ② 市立高等学校科学探究科運営事業 3,659 千円

○目的 社会や時代のニーズに応えるため、一人一人が主体的に学び、科学的・数学的に探究・表現する能力・態度を養い、地域社会や国際社会で活躍・貢献できる有為な人材を育成する。

○事業概要 静岡市立高等学校に科学探究科(理数科)を設置し、理数教育を推進する。



ICTを活用した授業



中学生向け説明会での実験

(47) 子育て世帯住宅取得支援事業について(都市局)

① 子育て世帯住宅購入資金利子補給事業

2,400 千円

(財源:国補助金1,200千円)

○目的 子育て世帯の市内定住促進を図るため、住宅を購入しやすい環境を整える。

○事業概要 融資を受けて住宅を取得する子育て世帯に対し、住宅ローンの利子の一部(0.3%)を助成する。年間40件を予定。

② 子育て世帯への優先宅地分譲事業 2,125 千円

○目的 子育て世帯の市内定住促進を図るため、市営住宅の建替等で生じた跡地を、住宅建設を希望する子育て世帯に対し、優先的に提供する。

○事業概要 市有地の測量・分筆委託及び不動産鑑定評価を実施する。6区画の売却を予定。

(48)雇用促進対策事業について(経済局)

臨時 ① 緊急雇用事業

455,646 千円(県補助金 455,646千円)

○目的 失業者に対して、雇用・就業機会を創出・提供し生活の安定を図る。

○事業概要

1 ふるさと雇用再生特別対策事業	101,215 千円
全5事業	21人(雇用予定)
静岡駅北口マルチビジョン管理・運営委託事業	3人(雇用予定)
静岡駅北口情報提供コーナー管理・運営委託事業	7人(雇用予定)
夜間・休日廃棄物不適正処理防止パトロール	4人(雇用予定)
市有林維持管理及び林地残材搬出等業務	4人(雇用予定)
まちなか情報コミュニケーション推進事業	3人(雇用予定)
2 緊急雇用創出事業臨時特例対策事業	354,431 千円
全40事業	191人(雇用予定)
(参考)	
静岡市都心商圈等実態調査	12人(雇用予定)
高齢者地域相談体制等整備業務	13人(雇用予定)
静岡市消防水利施設整備状況データ化事業	11人(雇用予定)
南アルプス地域エコツーリズム推進事業	4人(雇用予定)



静岡駅北口マルチビジョン管理・運営

まちなか情報コミュニケーション推進事業「なびちよ」

(49) 地域コミュニティ活性化事業について(生活文化局)

① 自治会・町内会関係助成(市民生活課所管)

556,698千円

○目的 行政の最も身近なパートナーである自治会・町内会を支援することで、地域コミュニティの活性化を図るとともに、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。

○事業概要 組織の活性化を図るための連合自治組織の運営費、住民活動の拠点である集会所整備費、地域コミュニティ活動を促進するための経費、地域と行政との連絡調整に係る経費を支援する。

1 連合自治組織運営費助成

市、各区、各学(地)区において組織される自治会連合会の活動に要する経費を補助する。

2 自治会・町内会が実施する各種事業に対する助成

住民活動の拠点である集会所を整備する経費、明るく安全なまちづくりを進めるための防犯灯を整備する経費、地域コミュニティを促進するための掲示板設置費、活動用具整備費を補助する。

3 地域連絡事務交付金

広報紙ほか行政文書の配布、ポスターの掲示、その他地域と行政との連絡事務に係る経費を交付金として交付する。



集会所



防犯灯



掲示板

(50) 生涯学習施設建設事業について(生活文化局)

○目的 利用者の安全を確保し、より一層充実した生涯学習活動ができる場所を提供する。

○事業概要

臨時 ① 東部生涯学習センター改修事業 **251,400 千円**
(財源: 県補助金 10,000千円
繰入金 100,000千円
市債 18,000千円)

公共建築物耐震対策に関する基本方針に基づく耐震補強
工事及び大規模改修工事の実施
平成24年3月供用開始予定

臨時 ② 有度生涯学習交流館改築事業 **397,962 千円**
(財源: 国庫補助金169,777千円
市債 196,000千円)

公共建築物耐震対策に関する基本計画に基づく改築工事
の実施
平成24年6月供用開始予定

臨時 ③ 岡生涯学習交流館改築事業 **12,600 千円**
(財源: 市債8,400千円)

新構想高等学校建設事業と並行して、生涯学習施設を整備
し、敷地を有効活用する方針に基づいた施設の複合整備化
の実施
平成26年度供用開始予定

臨時 ④ 西部生涯学習センター改築事業 **50,000 千円**

既存施設を解体後、跡地を公園として整備する。



旧 西部生涯学習センター



新 西部生涯学習センター

(51) 水道施設整備事業について(上下水道局)

臨時 ① 水相互運用(北部ルート)事業 1,766,300 千円

(財源:企業債1,220,000千円 ほか)

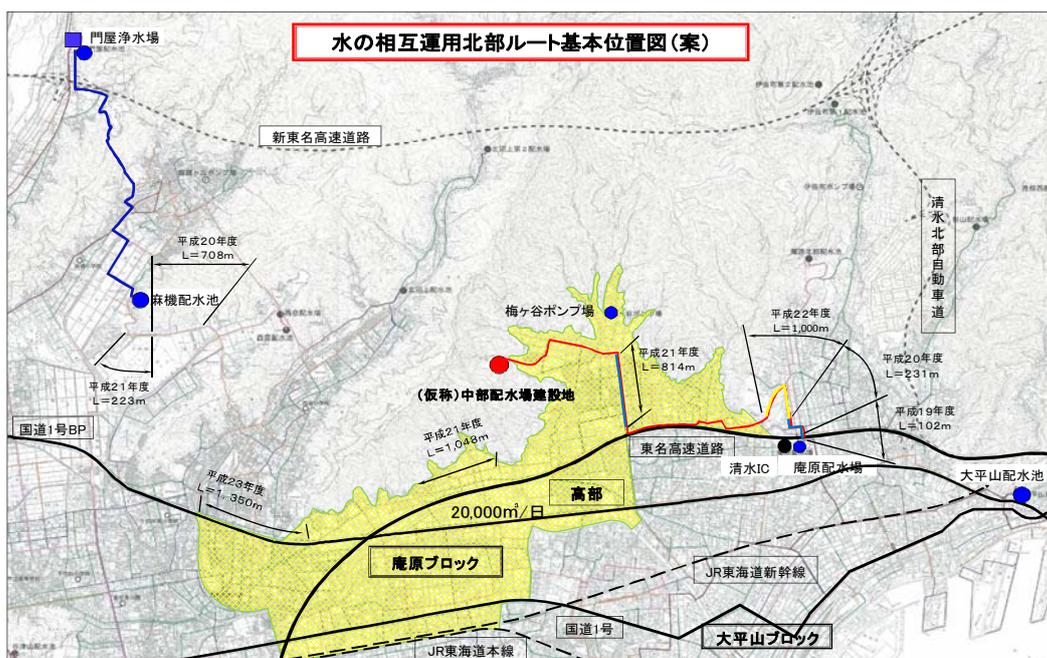
○目的 渇水期等における安定給水の強化を図るため。

○事業概要 安倍川水系と興津川水系の水相互運用(北部ルート:麻機配水池～
仮称中部配水場～庵原配水場)を図る。

平成26年度供用開始予定。

○仮称中部配水場築造工事(継続費 平成22～24年度) 1,038,000 千円

○麻機配水池～仮称中部配水場送水管布設工事 728,300 千円
庵原配水場～仮称中部配水場送水管布設工事



臨時 ② 鎌田配水場築造工事 751,000 千円

(財源:企業債509,000千円 ほか)

○目的 駿河区長田地域における安定給水の確保と災害等緊急時の応急給水に対応するため。

○事業概要 丸子及び上川原の地下水を水源とした鎌田配水場の整備を図る。
平成25年度供用開始予定。

○鎌田配水場築造工事(継続費 平成22～24年度)

751,000 千円

鎌田配水場 完成イメージ



臨時③ 由比第1浄水場改修工事

399,000 千円 (財源)

(財源:国補助金 90,250千円

企業債 216,000千円 ほか)

○目的 清水区由比地域の安全・安心な水の安定供給を図るため。

○事業概要 緩速ろ過施設を急速ろ過施設に更新する。
平成25年度供用開始予定。

○由比第1浄水場改修工事(継続費 平成22～24年度)

399,000 千円



由比第1浄水場(平成23年1月現在)

(52) 生活交通対策事業について(都市局)

○目的 市民の重要な足となる生活交通を維持・確保する。

① バス路線維持対策事業 120,676 千円

(財源: 使用料1,455千円)

○事業概要 駿河区役所アクセスバス運行業務

自主運行バス運行業務(井川、両河内、由比)

臨時 仮称静岡市バス交通計画ガイドライン策定(基礎調査)



駿河区役所アクセスバス



井川地区自主運行バス

② 市街地バス路線維持費助成 108,275 千円

○事業概要 市街地の不採算バス路線維持のため、バス事業者に助成する。

庵原線、用宗線、牧ヶ谷線ほか14路線

③ 山間地バス路線維持費助成 113,300 千円

○事業概要 山間地の不採算バス路線維持のため、バス事業者に助成する。

安倍線、藁科線ほか1路線

庵区清沢地区の過疎地有償運送事業者に助成する。

(53) 情報化推進事業について(経営管理局)

① 地域情報基盤整備事業費助成 **25,500 千円**(財源:国補助金23,500千円)

注:国補助金は自主共聴施設デジタル化
整備事業費助成のみ

○目的 情報基盤を整備するため、自主共聴施設のデジタル化整備に要する経費及び衛星ブロードバンド整備に要する経費の一部を助成する。

○事業概要 1 自主共聴施設デジタル化整備事業費助成

(事業規模) 8施設

23,500 千円



自主共聴施設

2 衛星ブロードバンド整備事業費助成

2,000 千円

(対象地区) 葵区、清水区 中山間地等

(事業規模) 10世帯



衛星ブロードバンド用アンテナ

(54) 公営住宅整備事業について(都市局)

① 富士見団地建設事業

1,160,000 千円

(財源:国補助金549,900千円
市債 549,900千円)

○目的 時代のニーズに対応するため、老朽化した公営住宅を建替える。

○事業概要 富士見団地第5期B-2棟建設工事(平成22～23年度継続工事)
及び立体駐車場建設工事を実施する。

【B-2棟】構造:鉄筋コンクリート造12階建 70戸

【駐車場棟】構造:鉄骨造2層3段 83台



富士見団地完成予定図(○印の箇所が、B-2棟)

(55) 下水道施設整備事業(汚水)について(上下水道局)

① 公共下水道事業(汚水) 8,785,696 千円

(財源:国補助金 2,609,995千円
企業債 5,222,047千円 ほか)

○目的 都市の健全な発達、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図るため、施設整備を実施する。

○公共下水道(汚水)の整備 4,153,935 千円

葵区服織地区、清水区長崎地区ほか

○合流式下水道の改善 合流改善施設調査設計ほか 74,279 千円

○下水道施設の長寿命化 2,702,203 千円

中島浄化センター汚泥燃料化事業

清水北部浄化センター設備更新ほか



清水北部浄化センター

○下水道施設の耐震化 高松処理区ほか 1,345,525 千円



老朽化した下水道管



耐震補強した下水道管(施工事例)

臨時 ○下水道台帳管理システムの導入 181,929 千円

○流域下水道の整備促進 327,825 千円

IV 持続可能な

環境共生都市の実現

(56) 地球温暖化対策推進事業について(環境局)

臨時 ① たてものまるごと省エネ化促進事業費助成

64,580 千円 (財源:繰入金64,580千円)

○目的 温室効果ガスの排出量削減に寄与する省エネ機器の導入を促し、本市の地球温暖化対策の推進を図る。

○事業概要 住宅に複数の省エネ設備を同時に設置した者及び住宅以外の建築物に太陽光発電設備とLED照明を同時に設置した者に対し、助成を行う。

- 一般住宅用省エネ設備設置費助成 30,000 千円
- 民間事業者等省エネ設備設置費助成 34,580 千円

② 地球温暖化対策事業費助成

24,600 千円 (財源:諸収入3,150千円)

○目的 温室効果ガスの排出量削減に寄与する太陽光発電設備の導入及びエコアクション21の認証取得を促し、本市の地球温暖化対策の推進を図る。

○事業概要 住宅に太陽光発電設備を設置した者及び環境マネジメントシステムであるエコアクション21の認証を取得した事業者に対し、助成を行う。

- 住宅用太陽光発電システム設置費助成 24,000 千円
(400~500件/年)
- エコアクション21取得費助成 600 千円
(20件/年)



太陽光パネル

③ 地球温暖化対策啓発事業

500 千円

○目的 本市を活動の場とする人々が、家庭、学校、会社など様々な場面で、地球温暖化防止のための取組を実践することにより、市域全体が一体となって地球温暖化対策の取組の輪を広げる。

○事業概要 「ストップ温暖化！100万人参加プロジェクト」として、次世代自動車の普及促進を目指すイベントを中心に、家庭における省エネ対策などの啓発事業を行う。



しずおかSTOP温暖化フェスタ2010

④ 「二酸化炭素の地産地消」関連事業

1,000 千円

○目的 二酸化炭素の吸収など森林地域の恩恵を受ける都市地域の住民などに対し、森林の公益的機能を意識させることにより、森林資源の購買・活用などの行動を促す。

○事業概要 「地域材を活用したモノづくり」を行い、完成したモノに「炭素貯留量」を明示することで、使用者に森林の持つ二酸化炭素吸収・炭素貯留機能を意識させる事業を行う。



整備された森林



ぬく森フェスタ100%森の日

臨時 ⑤ 省エネ・地球温暖化対策相談事業 10,000 千円 (財源: 県補助金10,000千円)

○目的 中小事業者から排出される温室効果ガスの削減を図るため、事業者への指導、相談業務を実施し、本市の地球温暖化対策を推進する。

○事業概要 事業者に対する省エネや地球温暖化対策の個別出張相談及び窓口相談を実施するとともに、他の事業者の取組事例の紹介や事業者同士の交流会を兼ねた「セミナー&交流会」を開催する。



事業者のための省エネセミナー&交流会

臨時 ⑥ 次世代自動車普及促進事業 9,500 千円 (財源: 諸収入1,140千円)

○目的 温室効果ガスの排出量削減に寄与する次世代自動車の普及促進を図り、本市の地球温暖化対策を推進する。

○事業概要 走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車を公用車として導入するとともに、電気自動車用の急速充電器を設置した者に対し、助成を行う。

- 電気自動車(公用車)導入 3,900 千円
- 民間事業者への急速充電器設置費助成 5,600 千円



電気自動車

新規 ⑦ エネルギー消費量「見える化」推進事業

1,894 千円

○目的 目には見えない電気のエネルギー消費量や二酸化炭素の排出量を「見える化」することにより、環境に配慮した行動を促進させる。

○事業概要 市民・事業者に対する「エネルギー消費量モニター」事業を実施するとともに、市民に対する二酸化炭素排出量削減のための「うちエコ診断」を実施する。

- 市民・事業者「エネルギー消費量モニター」事業
(約60件/年) 1,534 千円
- 一般家庭向け「うちエコ診断」事業
(約150件/年) 360 千円



省エネナビ



うちエコ診断

(57)環境低負荷型都市建設事業について(環境局)

拡充 ① 静岡版「もったいない運動」推進事業

8,869 千円

○目的 静岡版「もったいない運動」を展開し、市民に4R意識の定着・向上を図ることにより、ごみの減量化、資源化を推進し、循環型社会の構築を目指す。

○事業概要

新規 1 資源循環センター啓発施設運営事業 5,972 千円

- ・環境大学の開設
- ・企業の環境活動とのタイアップ
- ・市主催の環境講座の開催
- ・環境創造部との連携による環境学習の実施
- ・4Rに関する情報提供、各種啓発事業等



- 2 ごみリサイクル展開催事業 2,503 千円
 3 雑紙重点回収等推進事業 394 千円



臨時 ② 微量PCB汚染廃電気機器把握支援事業

5,917 千円 (財源: 繰入金5,914千円
 諸収入 3千円)

○目的 微量PCB汚染廃電気機器の実態把握の促進に必要な、PCB含有量分析費用の助成により、安全・安心な廃棄物適正処理を推進する。

○事業概要 事業者が行うPCB含有量分析に対し、助成を行う。

③ 廃棄物不法投棄監視事業

18,341 千円 (財源: 県補助金12,651千円)

○目的 生活環境の保全の実現に必要な、廃棄物の不適正処理の監視及び指導により、廃棄物の適正処理を確保する。

○事業概要 廃棄物の不法投棄及び不適正処理に対し、監視及び指導を強化する。

④ ごみ等収集事業

1,452,891 千円(財源: 諸収入130,244千円)

○目的 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内で排出される一般廃棄物の効率的な収集及び資源ごみの分別回収により、循環型社会の構築を目指す。

○事業概要 可燃ごみ及び資源ごみの収集委託事業等



家庭ごみの収集作業

⑤ 沼上清掃工場施設整備事業

350,000 千円(財源: 繰入金200,000千円)

○目的 沼上清掃工場の安定した稼働の実現に必要な、主要設備機器の修繕を実施することにより、安全・安心な廃棄物適正処理の推進を図る。

○事業概要 主要設備機器の修繕



ごみクレーン



中央制御室

(58) 公共施設への地域材の活用

臨時 ① 足久保小学校特別教室棟建設事業(教育委員会、保健福祉子ども局)

69,757 千円

(財源:国補助金 7,168千円
市債 15,600千円)

○目的 児童増加に伴う普通教室の不足を解消するため、校舎内にある特別教室を普通教室に転用し、不足する特別教室(児童クラブ室、音楽室)を別棟で建設する。なお、子どもたちの情操、健康等を考慮し、自然素材である木材を使用し、市産材を活用する。

○事業概要 木造2階建
1階:児童クラブ室、2階:音楽室

臨時 ② (再掲)清水船越老人福祉センター改築事業(保健福祉子ども局)

257,810 千円 (財源:市債 189,000千円)

○目的 老人福祉法に基づき、高齢者に関する各種の相談に応ずるとともに、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するため、老人福祉センターを設置する。

○事業概要 清水船越老人福祉センターの老朽化に伴い、市産材を活用しつつ改築を行う。

建設地 : 清水区船越町内

構造 : 木造平屋建 699.42m²



(完成予想イメージ図)